

交野市立第三中学校区及び交野市立第四中学校区
の学校適正配置の方向性について

星田北 6・7・8・9 丁目の望ましい学校区について
(中間答申)

令和 2 年 1 2 月 4 日

交野市学校教育審議会

星田北6・7・8・9丁目の望ましい学校区について

目次

1. はじめに
2. 第三中学校区及び第四中学校区の現状と課題
 - (1) 第三中学校区
 - (2) 第四中学校区
3. 星田駅北地区の住宅開発について
4. 星田北6・7・8・9丁目の望ましい学校区について
 - (1) 検討の方向性
 - (2) 検討の具体的な内容
 - ①学校区の変遷について
 - ②学校施設について
 - ③通学における安全確保等について
 - ④地域コミュニティについて
 - ⑤小中一貫教育と学校適正配置の方向性について
 - (3) 星田北6・7・8・9丁目の望ましい学校区について
5. 附帯事項
 - (1) 通学路の安全確保について
 - (2) 星田北エリアのまちづくり期間中の通学路の安全確保について
 - (3) 星田北7丁目の既存住宅区域の学校区の再検討について

1. はじめに

交野市では、昭和 40 年代後半から昭和 50 年代にかけて市内各地で盛んに行われた住宅開発等により人口が急増し、児童・生徒数の増加に伴い、小・中学校の分離・開校が行われました。昭和 56 年度には小学校の児童数が、昭和 57 年度には児童・生徒数が、昭和 60 年度には中学校の生徒数が最大となりました。その後は減少傾向が続き、今後、著しい児童・生徒数の減少により学校運営に支障をきたす小規模校が複数校現れることが懸念されます。

一方、前述の人口急増期に建設した多くの学校施設は、建築後相当年数が経過し、経年劣化による老朽化のため、施設の改修・更新が必要となっているなどの課題もあります。

今後の教育環境の維持向上を図り、更なる少子化、学校の老朽化等の課題や小中一貫教育などの新たな学校づくりに対応するため、本審議会は平成 28 年 7 月に交野市教育委員会より「今後における市立小学校及び中学校の適正規模及び適正配置のあり方」について諮問を受けました。平成 29 年 1 月には、本審議会からの中間答申を経て、交野市教育委員会において「学校規模適正化基本方針～望ましい小・中学校の在り方～」が策定されました。

平成 31 年 2 月に交野市教育委員会において策定された「交野市学校規模適正化基本計画」は、学校規模適正化基本方針に基づいた、本審議会における各中学校区の今後の適正配置の在り方についての答申を踏まえ、パブリックコメントを経て学校施設の将来に向けた望ましい配置やあり方の方向性を具体的に示したものです。

その中で、第三中学校区及び第四中学校区の学校適正配置については、星田北エリアのまちづくり対象区域である、星田北地区及び星田駅北地区の土地利用計画や住宅開発の戸数などが確かなものとなった時点で、当該地域の望ましい学校区とあわせて将来に向けた望ましい学校適正配置について検討することとされています。

そのような中、本審議会は、上述の住宅開発を含む星田北エリアのまちづくりの進捗に伴い、令和元年 7 月に交野市教育委員会より「交野市立第三中学校区及び交野市立第四中学校区の学校適正配置の方向性について」との諮問を受けました。

当該諮問事項については未だ審議の途中ではありますが、この度、星田北 6・7・8・9 丁目の望ましい学校区について、慎重かつ丁寧な審議のうえ取りまとめましたので、ここに中間答申致します。

2. 第三中学校区及び第四中学校区の現状と課題

(1) 第三中学校区

第三中学校区の各学校については、現在すべての学校が適正な学校規模となっていますが、住民基本台帳や「国立社会保障・人口問題研究所」推計値を基にした児童・生徒数の市独自推計では、令和 27 年度までに、星田小学校・妙見坂小学校・旭小学校が小規模化すると見込まれています。

学校施設については、星田小学校に平成 31 年 3 月時点で建築後 57 年を経過する校舎があり、これは本市小学校の中で最も古い校舎となっています。一方、第三中学校区の他の学校については、本市では概ね平均的な築後年数となっています。また、星田小学校は本市で最も敷地面積の小さい学校となっています。

各学校への通学距離については、星田小学校と妙見坂小学校では、最長でも概ね 1 km 圏内となっていますが、旭小学校では星田西地域などで最長概ね 2km となっています。第三中学校区までの通学距離についても、星田西地域からの通学が最も遠く、最長で概ね 2km の道のりとなっています。また、第三中学校区の通学路については、山手の地域も多いことから、アップダウンのある道が多いことが特徴となっています。

学校区と地区については、星田地区が第三中学校区の星田小学校区、妙見坂小学校区、旭小学校区と第四中学校区の藤が尾小学校区の 4 つの小学校区にまたがっています。また、南星台地区は、大部分が妙見坂小学校区となっていますが、一部星田小学校区となっており、これらの地域では、子どもたちの地域の見守りの面などで課題があると考えられます。(資料 3)

(2) 第四中学校区

第四中学校区の各学校については、現在すべての学校が適正な学校規模となっていますが、上述の児童・生徒数の市独自推計では、令和 27 年度までに、岩船小学校・藤が尾小学校が小規模化すると見込まれています。

学校施設については、岩船小学校に平成 31 年 3 月時点で建築後 47 年を経過する校舎があり、これは第四中学校区の学校施設の中で最も古い校舎となっています。一方、第四中学校区の他の学校については、本市の他の中学校区と比べると、比較的新しい学校施設となっています。

各学校への通学距離については、岩船小学校では概ね 1.4km 圏内、藤が尾小学校では概ね 1.3km 圏内、私市小学校では概ね 1.6km 圏内となっています。第四中学校区では寺地区からの概ね 2.3km が最長の通学距離となっています。

学校区と地区については、星田地区が第四中学校区の藤が尾小学校区と第三中学校区の星田小学校区、妙見坂小学校区、旭小学校区の 4 つの小学校区にまたがっています。また、私部地区は、大部分が第一中学校区の交野小学校区となっていますが、第二京阪道路以南の私部西 5 丁目付近のみが藤が尾小学校区となっています。一方、岩船小学校区と私市小学校区については、学校区と地区の境が一致しています。(資料 4)

3. 星田駅北地区の住宅開発について

星田北エリアのまちづくりについては、星田北地区（星田北 8・9 丁目）が主に工業地として、星田駅北地区（星田北 6・7 丁目）が主に住宅地や商業地として、開発予定となっています。（都市計画審議会 資料 4）

現在、当該事業対象区域のうち、星田北 6・8・9 丁目は藤が尾小学校区（第四中学校区）、星田北 7 丁目は星田小学校区（第三中学校区）となっており、星田北 6 丁目では戸建住宅と共同住宅を合わせて 527 戸、星田北 7 丁目では戸建住宅 162 戸の住宅開発が見込まれています。

この住宅開発により、当該事業対象区域では、今後児童・生徒が大幅に増える見込みとなっています。（参考資料 11）

また、星田北エリアのまちづくりに伴い、星田北 6 丁目と 7 丁目の丁目境が変更される見込みとなっていますが、丁目境の変更前後で、星田北 6 丁目及び 7 丁目における住宅開発戸数の変化等はない見込みとなっています。（参考資料 13）

4. 星田北 6・7・8・9 丁目の望ましい学校区について

（1）検討の方向性

本審議会では、現状のみを考えて検討するのではなく、将来に向けた学校適正配置の方向性を見据えながら検討を行いました。なお、将来に向けた学校適正配置の方向性については、学校規模適正化基本計画で示された「学校適正配置を検討する上での基本的な考え方」に基づいて、検討しました。

<学校適正配置を検討する上での基本的な考え方>

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">① 「学校規模適正化基本方針」に基づき、将来的にも適正な学校規模を確保するよう検討する。② 「学校規模適正化基本方針」に基づき、適正な通学距離の範囲内となるように検討する。③ 児童・生徒数の将来推計と今後、見込まれる大規模な住宅開発の影響も考慮して検討を進める。④ 学校施設の老朽化状況も勘案して検討を進める。⑤ 小中一貫教育を進めるにふさわしい新しい教育環境にも配慮する。⑥ 地域のコミュニティにも配慮し、現在の中学校区を基本として検討する。⑦ 一つの小学校からは、一つの中学校へ進学することを基本として検討する。 |
|--|

※学校規模適正化基本方針では、児童生徒の通学距離について、小学校では 2km 以内を基本としつつ、3km 以内を許容範囲とし、中学校では 3km 以内を基本としつつ、4km 以内を許容範囲としています。

（2）検討の具体的な内容

現在、星田北 8・9 丁目には居住する世帯がないこと、また、星田北エリアのまちづくりにおいても、当該地域では住宅開発が見込まれていないことから、検討に際しては、星田北 6・7 丁目についての検討を行い、星田北 8・9 丁目については、現状の通学区域どおり星田北 6 丁目と

一体の学校区として検討を行いました。

具体的には、星田北 6・7・8・9 丁目の考えられる学校区パターンを整理して、各パターンのメリット・デメリットや、各パターンで将来とりうる学校配置などについても考慮しながら、以下①～⑤について検討を行いました。(参考資料 12, 13, 14, 15)

①学校区の変遷について

星田北 6・8・9 丁目については、平成 20 年度に星田小学校の普通教室数の不足などへの対応として、星田小学校区から藤が尾小学校区に校区変更された経緯などを踏まえると、現状のまま藤が尾小学校区とすることが望ましいと考えます。

②学校施設について

星田北 6 丁目又は星田北 6 丁目及び 7 丁目を星田小学校区とする場合、星田小学校では児童数の増加に伴う学級数の増加が見込まれています。しかしながら、星田小学校は教室数に余裕がないため、教室数確保のため増築等が必要と考えますが、本市の中で最も敷地面積の小さい学校であることから、増築は難しいと考えます。

また、現状の学校区どおり星田北 7 丁目を星田小学校区とする場合、通常の学級数の増加はないと見込まれますが、放課後児童会や支援学級数等を考慮すると教室数の不足が懸念されることから、星田北 7 丁目を星田小学校区とすることにも課題があると考えます。

一方、旭小学校と藤が尾小学校はいずれの学校も、星田北 6 丁目又は星田北 6 丁目及び 7 丁目を学校区に含む場合、将来、児童数の増加により、教室数の不足が見込まれることから、学校施設の増築等が必要と考えますが、これらの学校では、学校敷地に余裕があるため増築等の対応は可能であると考えます。

③通学における安全確保等について

1) 星田北 7 丁目から星田小学校及び藤が尾小学校への通学について

通学路の検討では、星田北 7 丁目から星田小学校への通学路及び藤が尾小学校への通学路について、通学距離や危険個所の確認など安全面の比較を行いました。

星田北 7 丁目から星田小学校への通学については、通学距離は短いものの、全体的に狭隘な道が多く、住宅開発に伴い当該地域の児童・生徒数が増加した場合、交差点などの危険個所に児童・生徒が集中することなどが懸念されます。

一方、藤が尾小学校への通学については、最長概ね 1.5km と、星田小学校への通学と比較して通学距離は長いものの、歩道の道幅は広いことから、比較的安全であると考えます。また、さらなる通学上の安全確保に向けては、星田北エリアのまちづくり区域やその周辺地域で安全対策が講じられることが望ましいと考えます。(参考資料 16)

なお、星田北 7 丁目から、第三中学校及び第四中学校への通学についても、学校規模適正化基本方針で定める適正な通学距離の範囲内となっています。

2) 星田北6・7・8・9丁目から旭小学校への通学について

星田北6・7・8・9丁目から旭小学校への通学路については、全体的に狭隘な道が多いことから、交差点等の危険個所に児童・生徒が集中することが懸念されます。

また、星田北6・8・9丁目又は7丁目を旭小学校区とする場合、当該地域から旭小学校への通学は、星田小学校区をまたぐことになり教育環境上望ましくないと考えます。このような状態を解消するためには、星田小学校区の一部（星田5丁目等）を旭小学校区に校区変更する必要がありますが、地域コミュニティへの影響が大きいと考えられることや短期的な視点での校区変更は望ましくないと考えられることから、星田北6・8・9丁目又は7丁目を旭小学校区とすることは望ましくないと考えます。

④地域コミュニティについて

1) 星田北6・7・8・9丁目全体の地域コミュニティについて

児童生徒の登下校時における見守り活動をはじめとして、学校運営上、地域の協力は欠かせないものとなっています。このような地域と学校の間関係を考えると、一団の開発区域である星田北6・7・8・9丁目（開発区域外の星田北6丁目及び星田北7丁目の既存住宅区域も含む。）については、一つの地域コミュニティとして捉え、一つの学校区とすることが望ましいと考えます。

2) 星田北7丁目内の既存住宅区域について

星田北7丁目の既存住宅区域と星田北エリアのまちづくりに伴う住宅開発区域については、同一の学校区とすることが望ましいと考えます。ただし、星田北エリアのまちづくりに伴う住宅開発等は、今後複数年をかけて進められると見込まれており、現時点で、住宅開発後の星田北7丁目全体の地域コミュニティや将来のまちの様相を見通すことは困難であると考えられます。

また、星田北7丁目の既存住宅区域が、これまで星田小学校区（第三中学校区）として培ってきた地域コミュニティについても配慮していく必要があると考えます。

⑤小中一貫教育と学校適正配置の方向性について

交野市では、今年度から全中学校区で小中一貫教育が実施されています。将来に向けた学校適正配置が、小中一貫教育に適した配置となるよう、施設一体型小中一貫校を含めた様々な施設形態もとりうるような校区編成が望ましいと考えます。

(3) 星田北6・7・8・9丁目の望ましい学校区について

星田北6・8・9丁目については、当該地域の過去の学校区の変遷や当該地域の近隣の学校施設の教室数等の状況を考えると、現状の通学区域どおり藤が尾小学校区とすることが望ましいと考えます。また、星田北7丁目のうち既存住宅区域を除く、星田北エリアのまちづくりに伴う住宅開発区域については、当該地域を含む星田北6・7・8・9丁目で一団の開発がされるという地域

コミュニティの観点や通学における安全面を確保しやすいことから、現状の星田小学校区から藤が尾小学校区に校区変更することが望ましいと考えます。

加えて、星田北6・7・8・9丁目（星田北7丁目の既存住宅区域を除く）を藤が尾小学校区（第四中学校区）とすることは、将来に向けた学校適正配置を考える上でも、施設一体型小中一貫校など様々な施設形態も含めて学校適正配置におけるとりうる選択肢が多いことなどから望ましいと考えます。

なお、星田北7丁目の既存住宅区域についても、今後の星田北6・7・8・9丁目全体での地域コミュニティの発展を考えると、星田北エリアのまちづくりに伴う住宅開発区域と同一の学校区とすることが望ましいと考えられますが、現時点で星田北エリアのまちづくりに伴う住宅開発後の星田北7丁目全体の地域コミュニティの様相を見通すことは困難であり、また、これまで星田小学校区（第三中学校区）として培ってきた地域コミュニティについても配慮が必要と考えられます。

以上のことから星田北6・7・8・9丁目（星田北7丁目の既存住宅区域を除く）については、藤が尾小学校区（第四中学校区）とし、星田北7丁目の既存住宅区域については、現時点では現状どおり星田小学校区（第三中学校区）とすることが望ましいと考えます。

ただし、星田北7丁目の既存住宅区域については、星田北エリアのまちづくりに伴う住宅開発が進み、星田北7丁目全体の地域コミュニティやまちの様相がはっきりとした時点で、改めて望ましい学校区について検討することが必要と考えます。

また、既に星田北6・7丁目（星田北7丁目の既存住宅区域を除く）に居住されている方については、当該地域における学校区の変遷の経緯なども踏まえ、星田小学校及び第三中学校への就学も可能とするような配慮が必要と考えます。

5. 附帯事項

(1) 通学路の安全確保について

児童生徒の登下校時における安全確保については、子どもたちの見守り活動など地域の方々に多大なご協力をいただいておりますが、子どもたちの安全を第一に考え、通学路の安全を最大限確保するよう要望します。

(2) 星田北エリアのまちづくり期間中の通学路の安全確保について

星田北エリアのまちづくり期間中は、当該地域で建設関係車両などの往来が多くなると考えられますので、当該期間中は特に通学路の安全を確保するよう要望します。

(3) 星田北7丁目の既存住宅区域の学校区の再検討について

星田北7丁目の既存住宅区域の学校区については、星田北エリアのまちづくりに伴う星田北7丁目全体の地域コミュニティの状況を注視し、子どもたちの良好な教育環境の確保を最優先に、適切な時期に再検討するよう要望します。

交野市立第三中学校区及び交野市立第四中学校区
の学校適正配置の方向性について

星田北6・7・8・9丁目の望ましい学校区について

(資料集)

(中間答申)

令和2年12月4日

交野市学校教育審議会

目 次

【学適 参考資料 3】

【学適 参考資料 4】

【学適 参考資料 1 1】

【学適 参考資料 1 2】

【学適 参考資料 1 3】

【学適 参考資料 1 4】

【学適 参考資料 1 5】

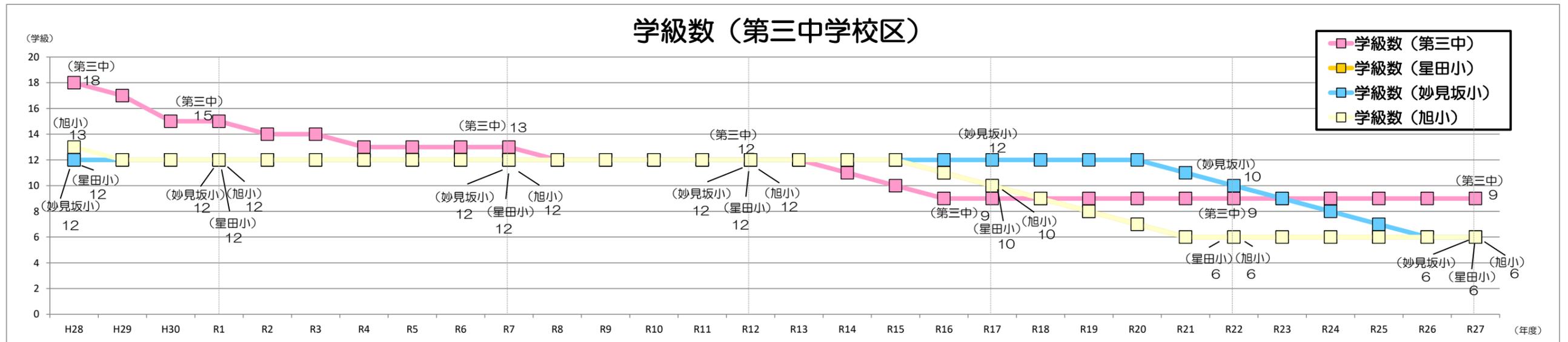
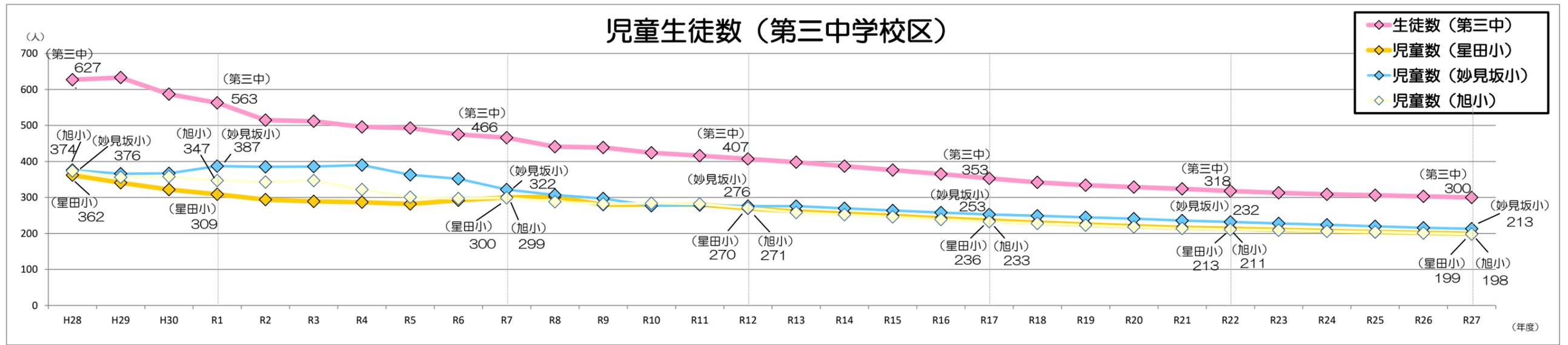
【学適 参考資料 1 6】

【都市計画審議会資料 4】

第三中学校区の現状資料

第三中学校区の児童生徒数・学級数

R1.5時点



	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27
第三中学校	生徒数	627	633	587	563	515	512	496	493	475	466	441	439	424	416	407	398	387	376	365	353	342	334	329	324	318	313	309	306	303	300
	学級数	18	17	15	15	14	14	13	13	13	13	12	12	12	12	12	12	11	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
星田小学校	児童数	362	341	322	309	294	289	287	282	292	300	302	280	280	280	270	261	255	249	242	236	230	225	220	216	213	210	207	204	202	199
	学級数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	10	9	8	7	6	6	6	6	6	6	6
妙見坂小学校	児童数	376	366	367	387	385	386	390	363	352	322	307	297	277	279	276	276	270	264	258	253	249	245	241	236	232	228	224	220	216	213
	学級数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	10	9	8	7	6	6
旭小学校	児童数	374	356	358	347	343	347	322	301	297	299	288	282	284	282	271	258	252	246	239	233	228	223	218	214	211	209	206	204	201	198
	学級数	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	10	9	8	7	6	6	6	6	6	6	6

※H28～R1については、各年5月1日の実数

※児童生徒数には、支援学級児童生徒数含む。

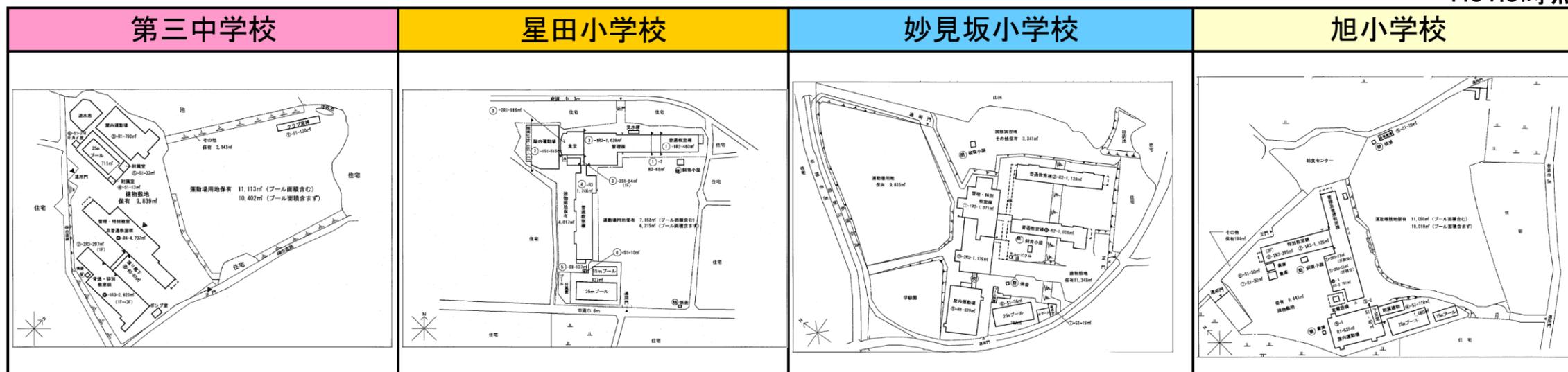
※学級数には支援学級数を含まない。

学校規模適正化基本方針 (望ましい学校規模について)

	小規模	適正規模
小学校	11学級以下	12学級以上24学級以下 (1学年あたり2～4学級)
中学校	8学級以下	9学級以上18学級以下 (19学級以上24学級以下も許容範囲とする)

第三中学校区の学校施設

H31.3時点



		第三中学校	星田小学校	妙見坂小学校	旭小学校
敷地面積		22,384m ²	10,232m ²	24,524m ²	18,655m ² (第三給食センター跡地1,322m ² あり)
運動場面積		10,402m ²	6,215m ²	9,835m ²	10,018m ²
延床面積		8,788m ²	4,916m ²	5,862m ²	5,200m ²
建築年度	校舎※1	1974(S49)年 (建築後44年)	1961(S36)年 (建築後57年)	1973(S48)年 (建築後45年)	1976(S51)年 (建築後42年)
	体育館	1975(S50)年 (建築後43年)	1966(S41)年 (建築後52年)	1974(S49)年 (建築後44年)	1977(S52)年 (建築後41年)
長寿命化判定	校舎	○	○	○	○
	体育館	×	○	×	×
長寿命化した場合の残存年数	校舎	36年 (建替時期:令和36年)	23年 (建替時期:令和23年)	35年 (建替時期:令和35年)	38年 (建替時期:令和38年)
	体育館	—	28年 (建替時期:令和28年)	—	—
健全度評価※2	校舎	59	44	72	69
	体育館	100	91	31	30

※1 校舎の建築年度は棟別に異なるため、延床面積1,000m²以上の棟のうち、もっとも古い棟の建築年度を記載している。

※2 健全度評価は、平成30年10月末時点における、各棟で②の部位ごとに、①の種別で評価し、③の式で健全度を評価。

※3 校舎の健全度評価は、下の式にて算出。

$$\frac{\{面積_{(棟1)} \times 健全度_{(棟1)} + \dots + 面積_{(棟n)} \times 健全度_{(棟n)}\}}{面積_{(棟1 + \dots + 棟n)}} = 校舎の健全度$$

①部位の健全度

評価	健全度
A	100
B	75
C	40
D	10

②部位のコスト配分

部位	コスト配分
1 屋根・屋上	7.2
2 外壁	14.9
3 内部仕上げ	22.4
4 電気設備	8.0
5 給排水設備	6.0
6 空調設備	1.0
7 昇降機その他	0.5
計	60.0

③健全度

$$\frac{\text{総和(部位の健全度} \times \text{部位のコスト配分)}}{\text{評価対象部位がオールAの点数}}$$

※100点満点にするためにコスト配分の合計値で割っている。

※健全度は、数値が大きいほど健全、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示す。

A: 概ね良好

B: 安全上、機能上、問題なし

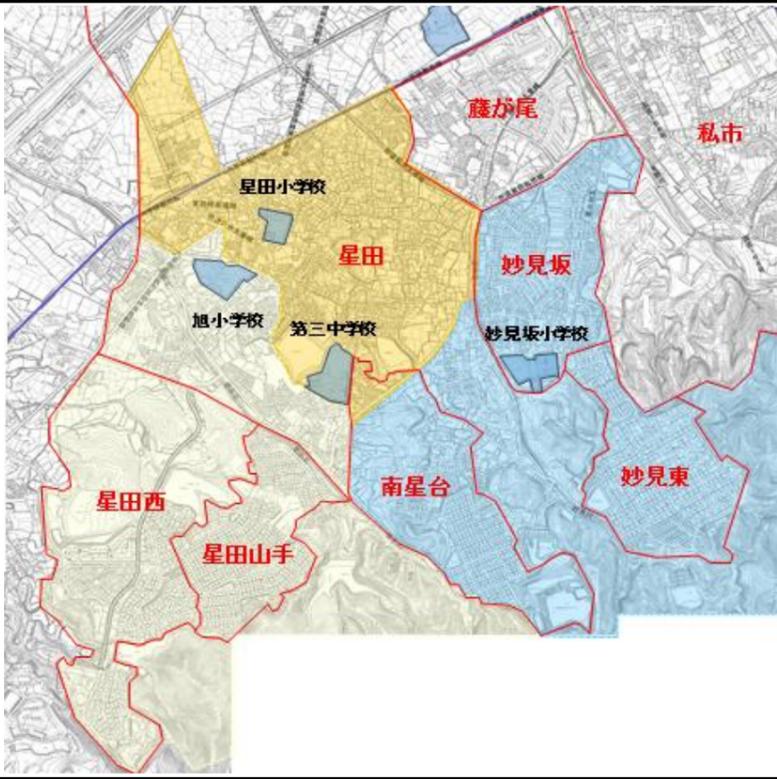
C: 安全上、機能上、劣化の兆しがみられる

D: 劣化の程度が大きく、安全上、機能上、問題があり、早急に対応する必要がある

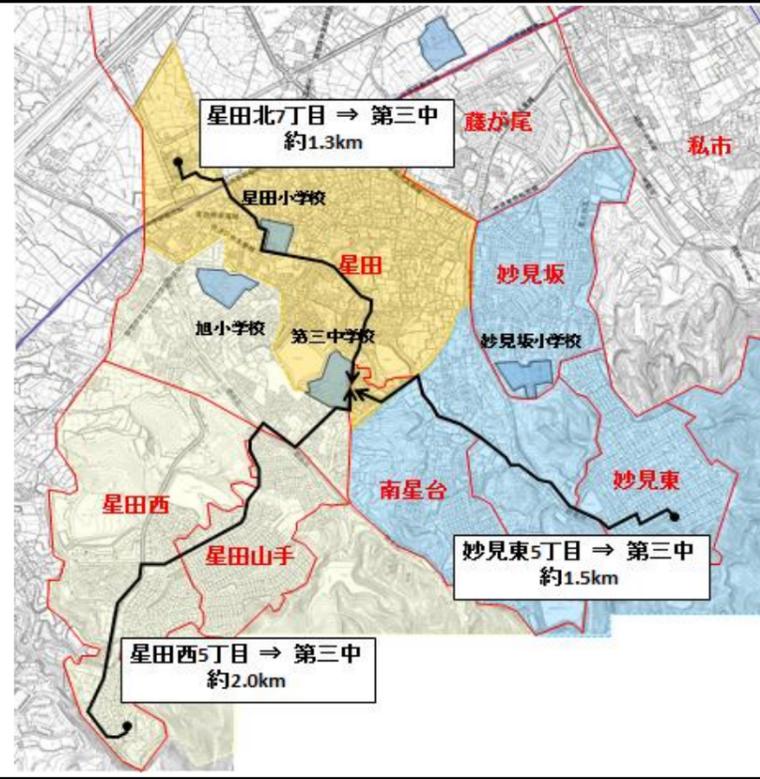
第三中学校区の地区・校区・通学距離

H31.3時点

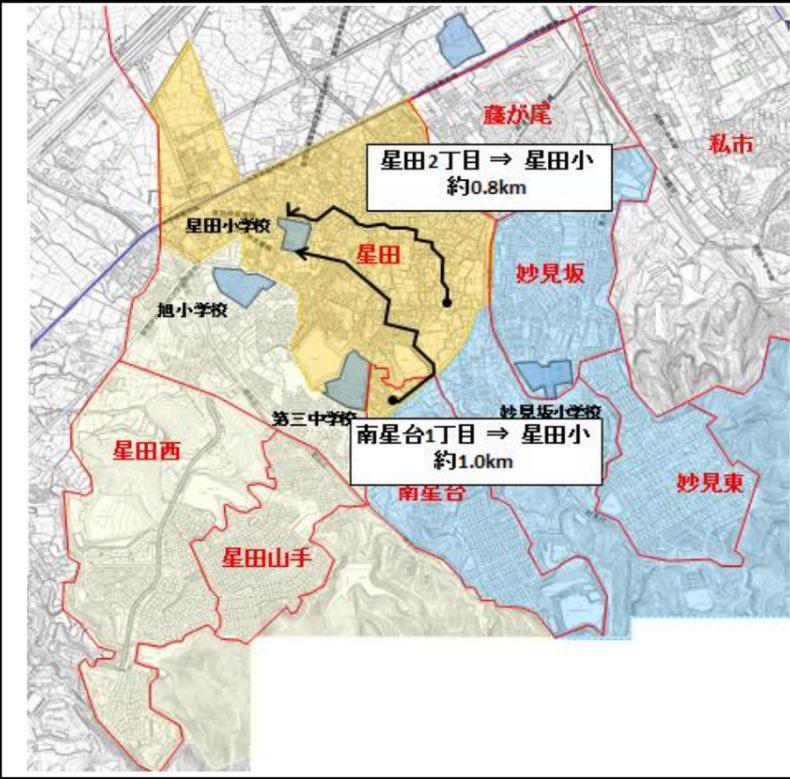
(1) 第三中学校区の地区図・小学校区図



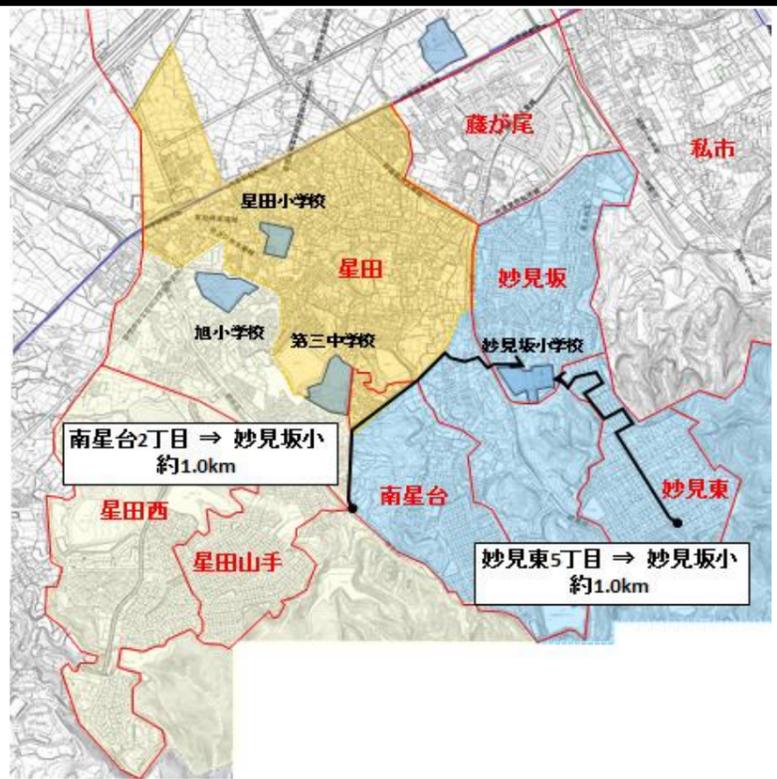
(2) 第三中学校への通学距離



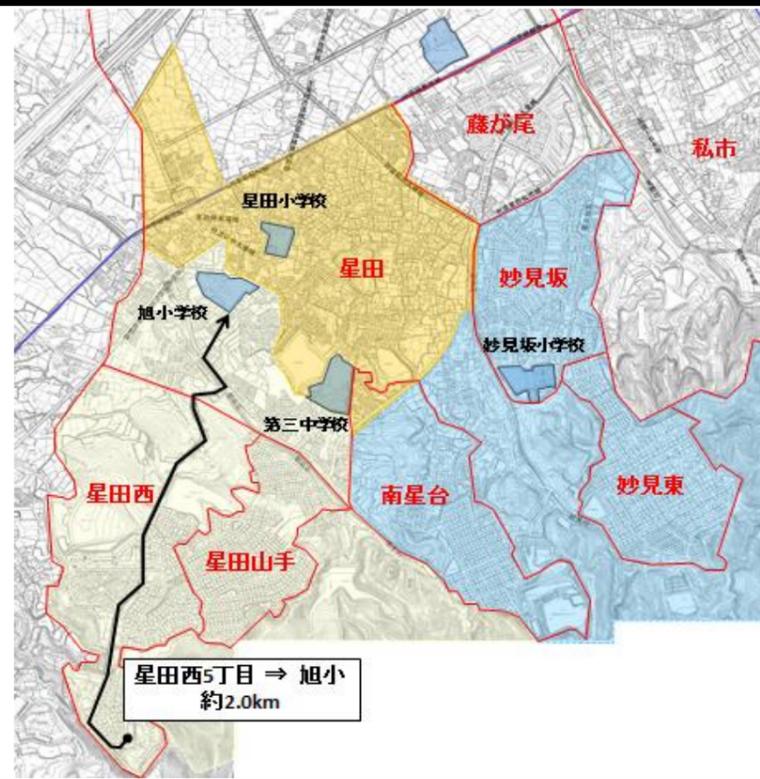
(3) 星田小学校への通学距離



(4) 妙見坂小学校への通学距離



(5) 旭小学校への通学距離



【地域の課題】

星田地区…星田北7丁目を除く、星田北地域は藤が尾小学校校区(第四中学校区)であるなど、4小学校区、2中学校区にまたがっている。
 南星台地区…大部分は妙見坂小学校区であるが、一部星田小学校区であり、2小学校区にまたがっている。

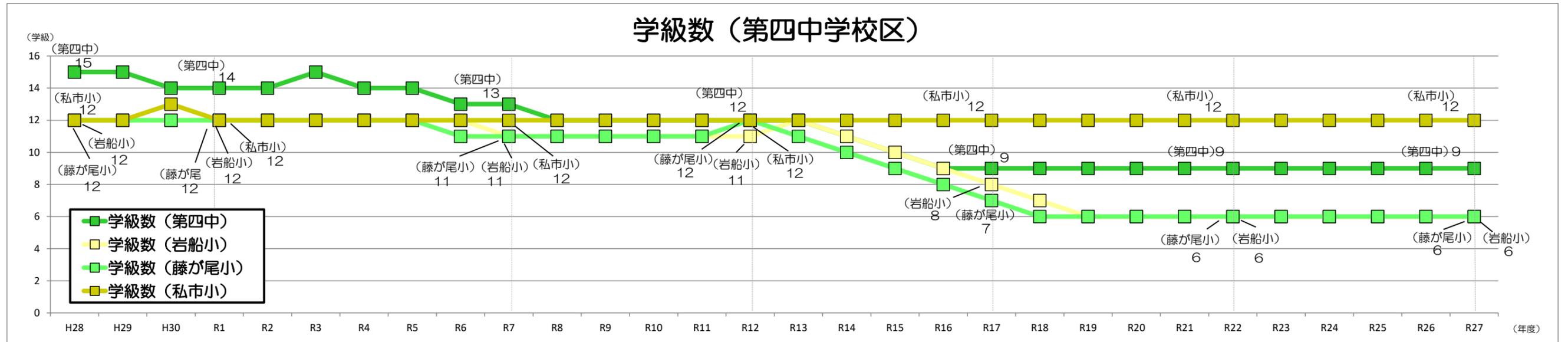
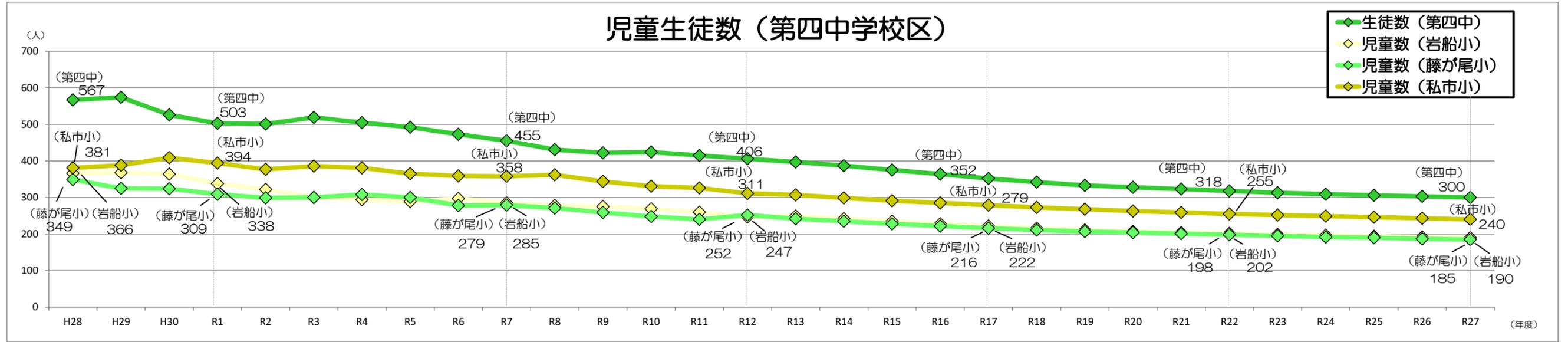
学校規模適正化基本方針 (望ましい通学距離について)

小学校	2km以内を基本とし、3km以内を許容範囲
中学校	3km以内を基本とし、4km以内を許容範囲

第四中学校区の現状資料

第四中学校区の子童生徒数・学級数

R1.5時点



	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19	R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27
第四中学校	生徒数	567	574	526	503	501	519	505	492	473	455	431	422	424	415	406	397	387	375	364	352	342	333	328	323	318	313	309	306	303	300
	学級数	15	15	14	14	14	15	14	14	13	13	12	12	12	12	12	12	11	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
岩船小学校	児童数	366	368	364	338	322	300	294	289	297	285	278	275	269	260	247	249	242	235	228	222	216	211	207	204	202	199	197	194	192	190
	学級数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	11	11	11	11	11	12	11	10	9	8	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6
藤が尾小学校	児童数	349	325	324	309	299	300	308	300	278	279	271	259	248	240	252	242	235	228	222	216	211	207	204	201	198	195	192	190	187	185
	学級数	12	12	12	12	12	12	12	12	11	11	11	11	11	11	12	11	10	9	8	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
私市小学校	児童数	381	388	409	394	377	386	381	365	359	358	362	344	331	326	311	307	299	291	285	279	273	268	263	259	255	252	249	246	243	240
	学級数	12	12	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12

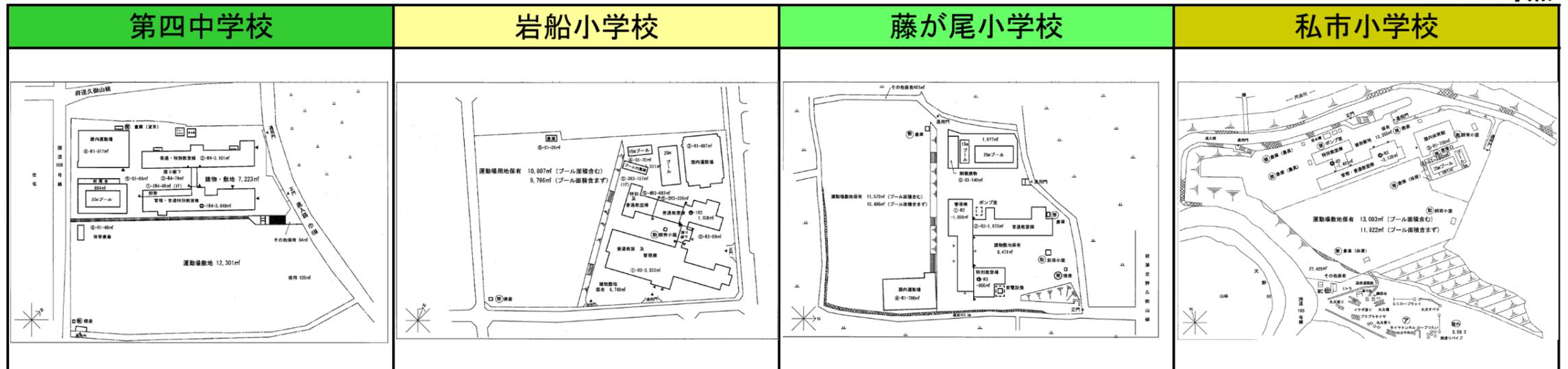
※H28～R1については、各年5月1日の実数
 ※児童生徒数には、支援学級児童生徒数含む。
 ※学級数には支援学級数を含まない。

学校規模適正化基本方針（望ましい学校規模について）

	小規模	適正規模
小学校	11学級以下	12学級以上24学級以下 (1学年あたり2～4学級)
中学校	8学級以下	9学級以上18学級以下 (19学級以上24学級以下も許容範囲とする)

第四中学校区の学校施設

H31.3時点



		第四中学校	岩船小学校	藤が尾小学校	私市小学校
敷地面積		19,618m ²	16,545m ²	19,367m ²	51,706m ²
運動場面積		12,301m ²	9,796m ²	10,495m ²	11,926m ²
延床面積		8,094m ²	6,511m ²	5,702m ²	5,551m ²
建築年度	校舎※1	1982(S57)年(建築後36年)	1971(S46)年(建築後47年)	1977(S52)年(建築後41年)	1979(S54)年(建築後39年)
	体育館	1982(S57)年(建築後36年)	1972(S47)年(建築後46年)	1978(S53)年(建築後40年)	1979(S54)年(建築後39年)
長寿命化判定	校舎	○	○	○	○
	体育館	○	×	○	○
長寿命化した場合の残存年数	校舎	44年(建替時期:令和44年)	33年(建替時期:令和33年)	39年(建替時期:令和39年)	41年(建替時期:令和41年)
	体育館	44年(建替時期:令和44年)	—	40年(建替時期:令和40年)	41年(建替時期:令和41年)
健全度評価※2	校舎	72	62	59	59
	体育館	92	75	75	83

※1 校舎の建築年度は棟別に異なるため、延床面積1,000m²以上の棟のうち、もっとも古い棟の建築年度を記載している。

※2 健全度評価は、平成30年10月末時点における、各棟で②の部位ごとに、①の種別で評価し、③の式で健全度を評価。

※3 校舎の健全度評価は、下の式にて算出。

$$\frac{\{面積_{(棟1)} \times 健全度_{(棟1)} + \dots + 面積_{(棟n)} \times 健全度_{(棟n)}\}}{面積_{(棟1 + \dots + 棟n)}} = 校舎の健全度$$

①部位の健全度

評価	健全度
A	100
B	75
C	40
D	10

②部位のコスト配分

部位	コスト配分
1 屋根・屋上	7.2
2 外壁	14.9
3 内部仕上げ	22.4
4 電気設備	8.0
5 給排水設備	6.0
6 空調設備	1.0
7 昇降機その他	0.5
計	60.0

③健全度

$$\frac{\text{総和(部位の健全度} \times \text{部位のコスト配分)}}{\text{評価対象部位がオールAの点数}}$$

※100点満点にするためにコスト配分の合計値で割っている。

※健全度は、数値が大きいくほど健全、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示す。

A: 概ね良好

B: 安全上、機能上、問題なし

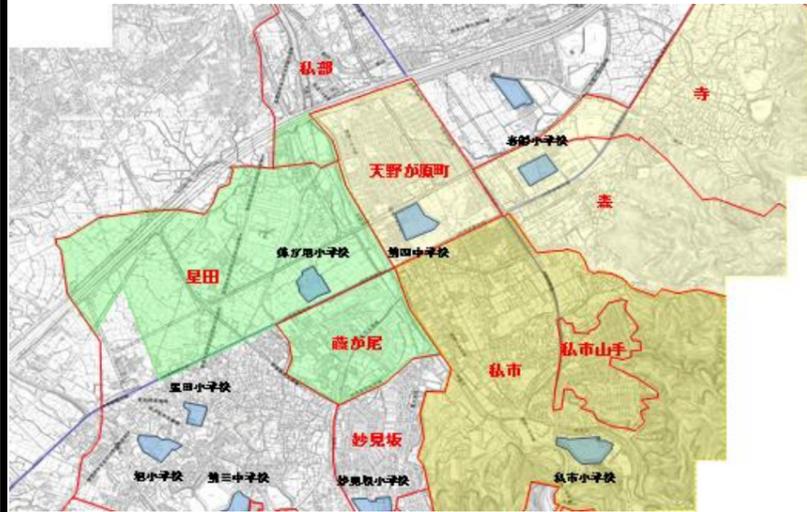
C: 安全上、機能上、劣化の兆しがみられる

D: 劣化の程度が大きく、安全上、機能上、問題があり、早急に対応する必要がある

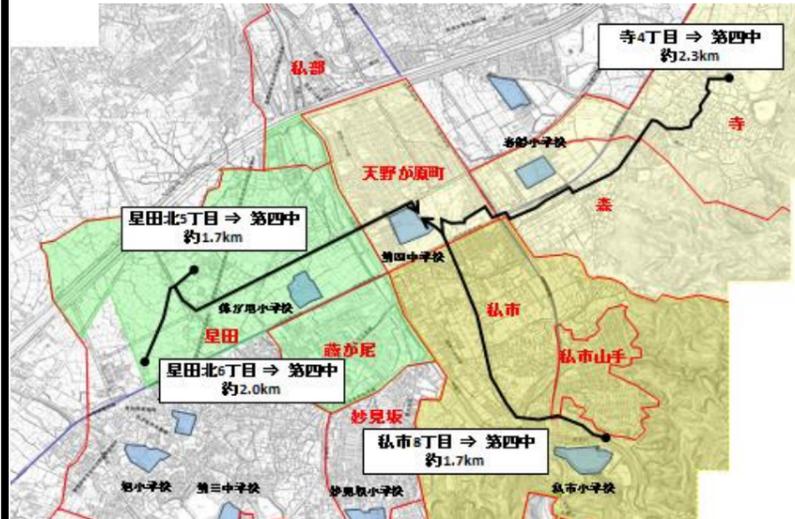
第四中学校区の地区・校区・通学距離

H31.3時点

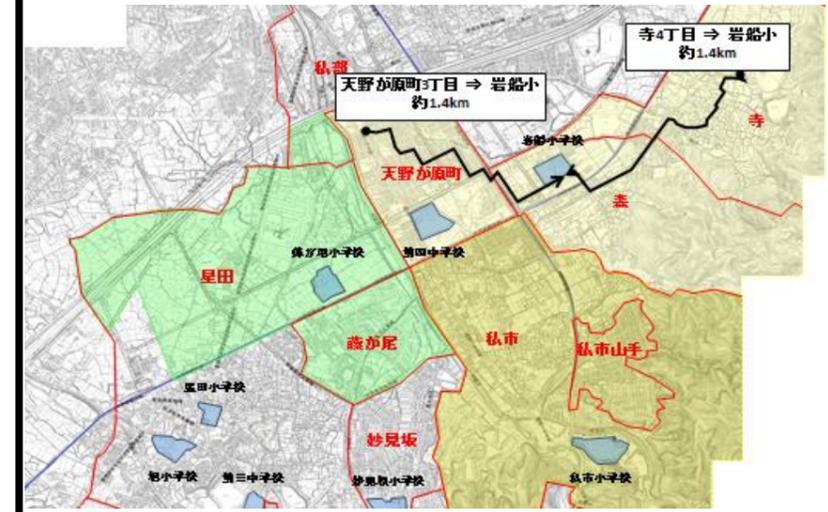
(1) 第四中学校区の地区図・小学校区図



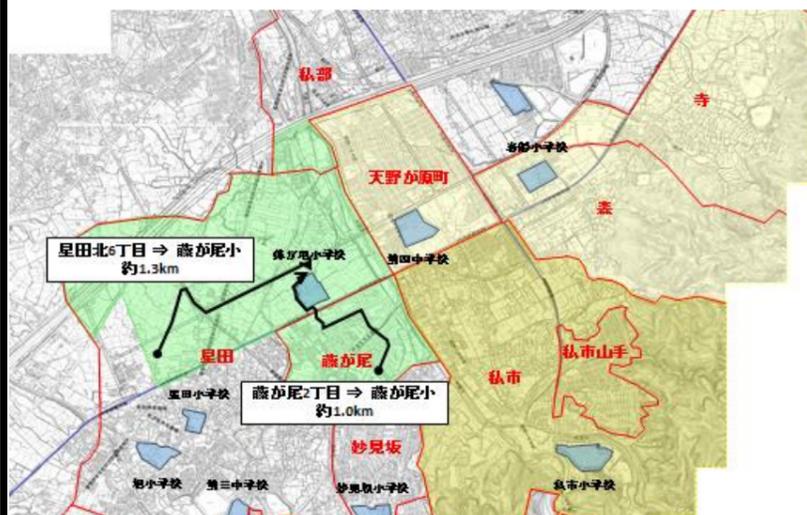
(2) 第四中学校への通学距離



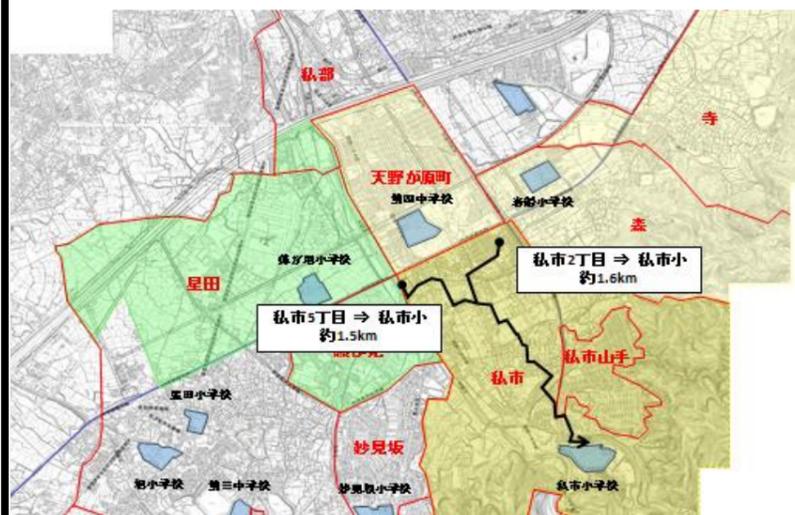
(3) 岩船小学校への通学距離



(4) 藤が尾小学校への通学距離



(5) 私市小学校への通学距離



【地域の課題】

星田地区…星田北7丁目を除く、星田北地域は藤が尾小学校校区(第四中学校区)であるなど、4小学校区、2中学校区にまたがっている。

学校規模適正化基本方針 (望ましい通学距離について)

小学校	2km以内を基本とし、3km以内を許容範囲
中学校	3km以内を基本とし、4km以内を許容範囲

星田駅北開発地域資料

星田駅北開発地域資料（1）

◆住宅開発により見込まれる児童生徒数の増加

図1 住宅開発地域と現況地区・校区図

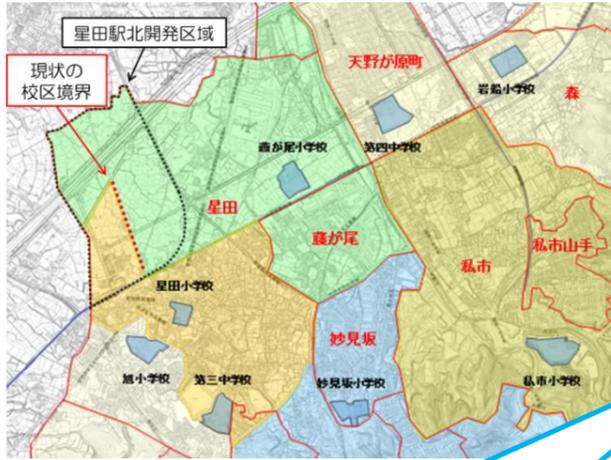
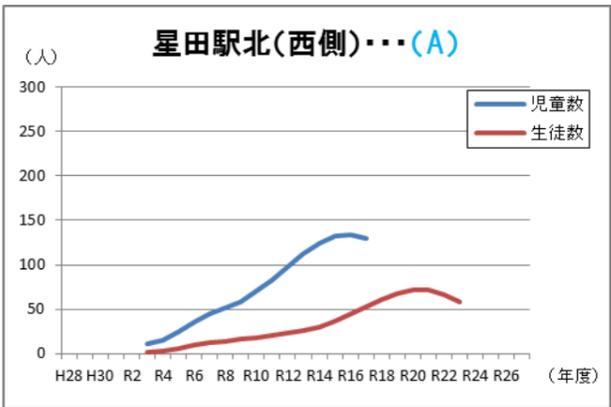


図2 星田駅北地域の土地利用計画図

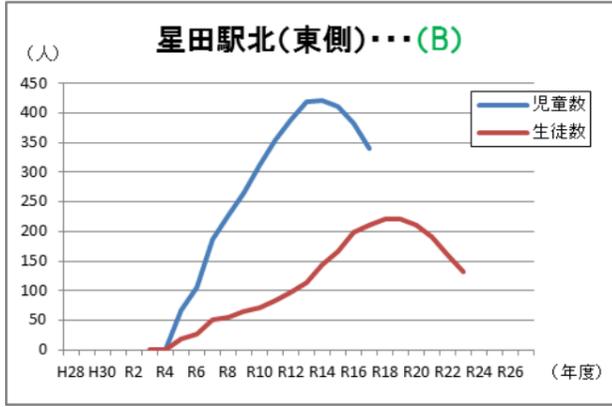


図3 都市計画道路西側の児童生徒数推計予測



住宅開発見込数…戸建住宅162戸

図4 都市計画道路東側の児童生徒数推計予測



住宅開発見込数…戸建住宅138戸
共同住宅389戸

・星田駅北の住宅開発（A）と各学校の児童生徒数推計

図5 星田小学校の児童生徒数推計予測

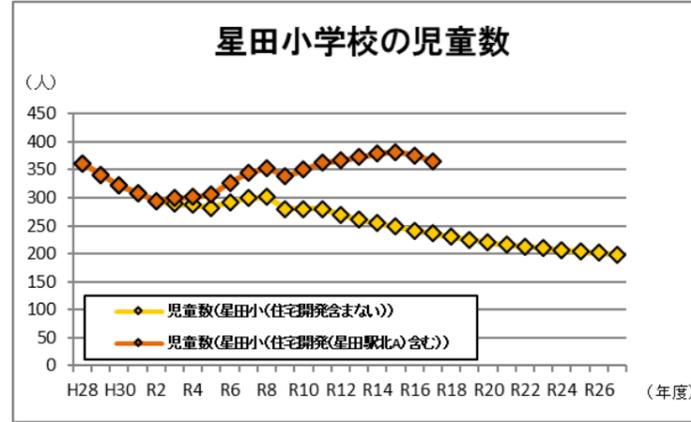


図6 旭小学校の児童生徒数推計予測

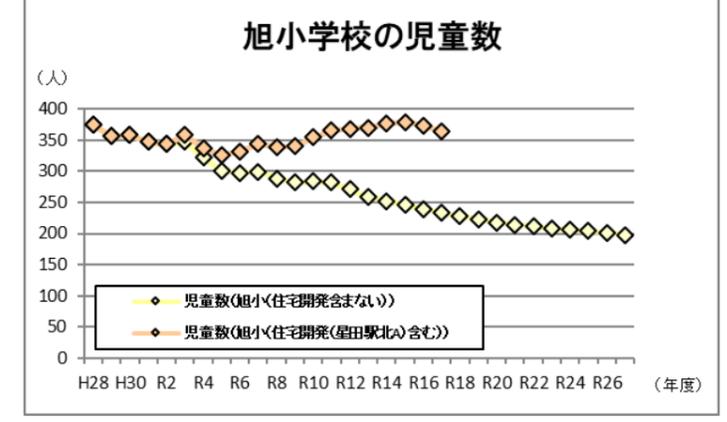
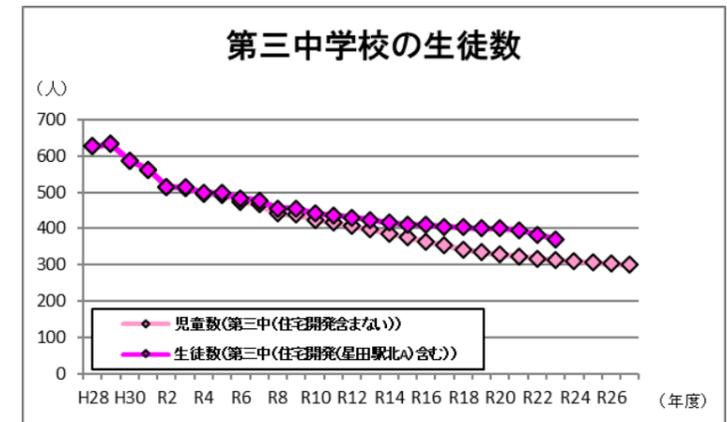


図7 第三中学校の児童生徒数推計予測



・星田駅北の住宅開発（B）と各学校の児童生徒数推計

図8 藤が尾小学校の児童生徒数推計予測

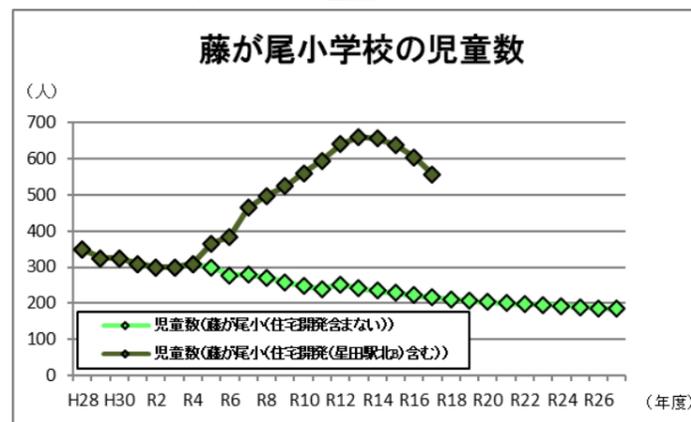
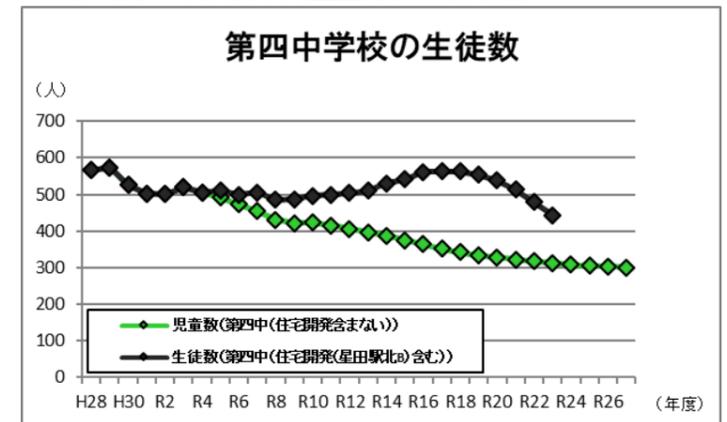


図9 第四中学校の児童生徒数推計予測



星田駅北の住宅開発（A）により増加が見込まれる児童生徒数を、星田小学校・旭小学校・第三中学校に加算した児童生徒数推計がそれぞれ、図5～7である。

星田駅北の住宅開発（B）により増加が見込まれる児童生徒数を、藤が尾小学校・第四中学校に加算した児童生徒数推計がそれぞれ、図8、図9である。

※図5～9では星田駅北の住宅開発による単純な児童生徒数の増加を加算したもので、校区内での引っ越し等による星田駅北地域以外の減少は加味していない。（校区内移動では、学校単位での児童生徒数には増減がない。）

星田駅北開発地域資料（2）

◆住宅開発により見込まれる児童生徒数の増加

図1 住宅開発地域と現況地区・校区図

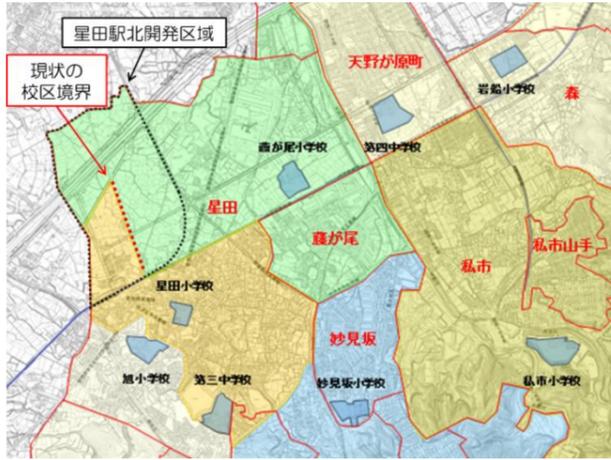
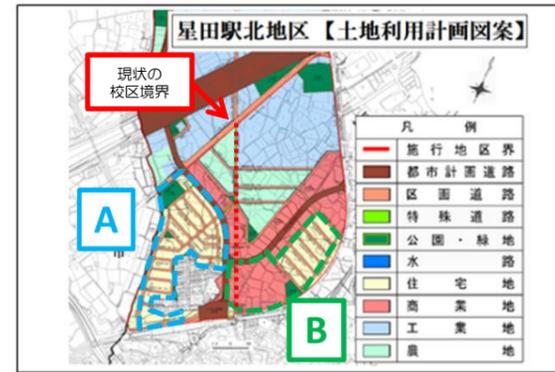


図2 星田駅北地域の土地利用計画図



・星田駅北の住宅開発全体 { (A) + (B) } と各学校の児童生徒数推計

図11 星田小学校の児童生徒数推計予測

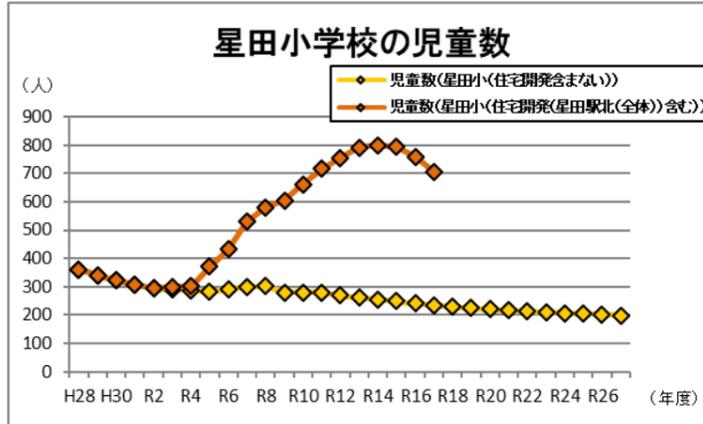


図12 旭小学校の児童生徒数推計予測

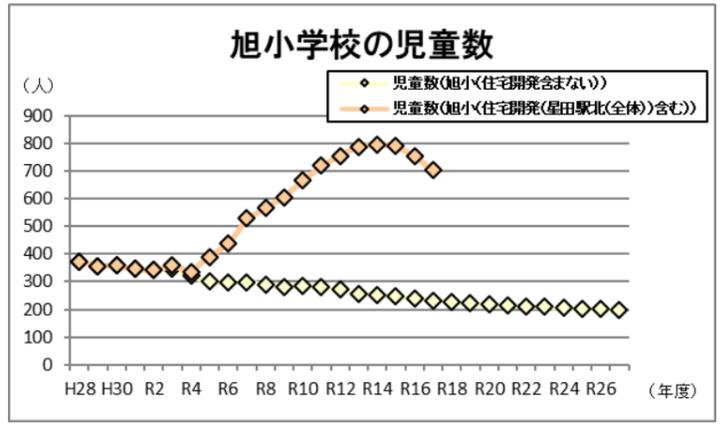
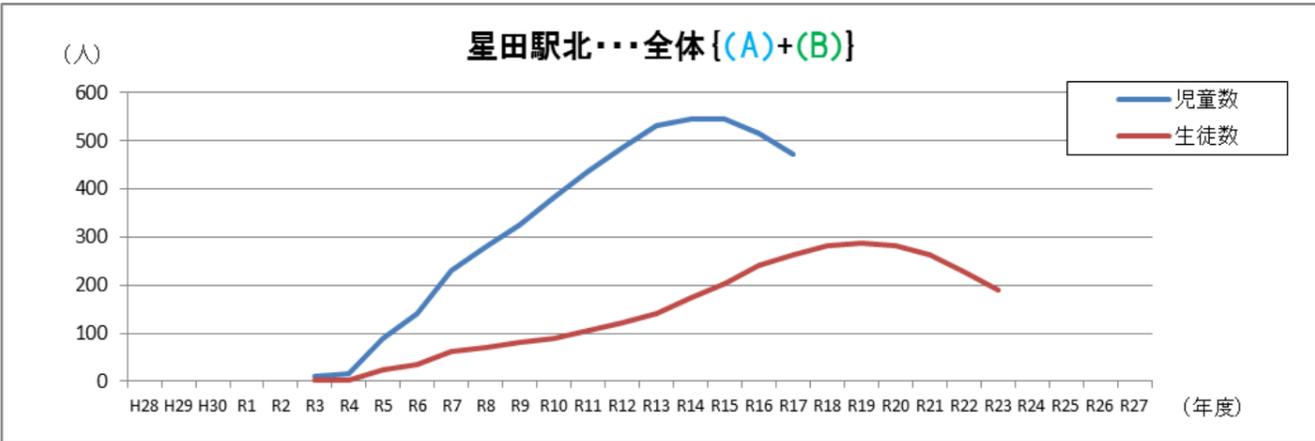


図10 星田駅北全体の児童生徒数推計予測



住宅開発見込数…戸建住宅300戸
共同住宅389戸

図13 第三中学校の児童生徒数推計予測

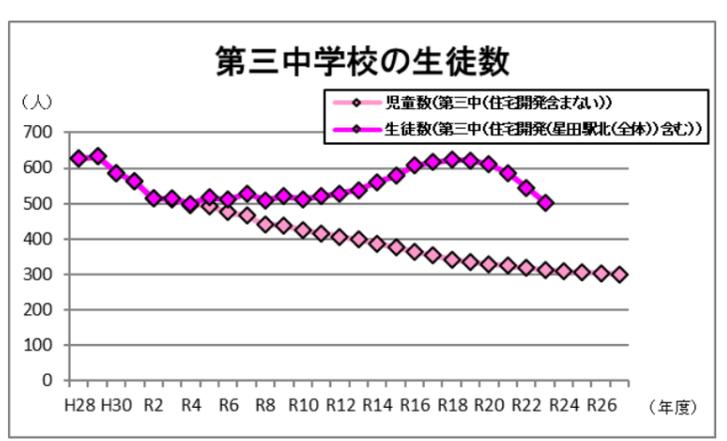


図14 藤が尾小学校の児童生徒数推計予測

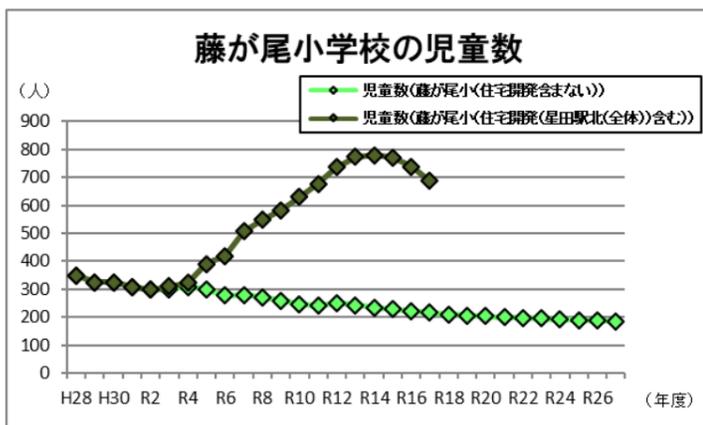
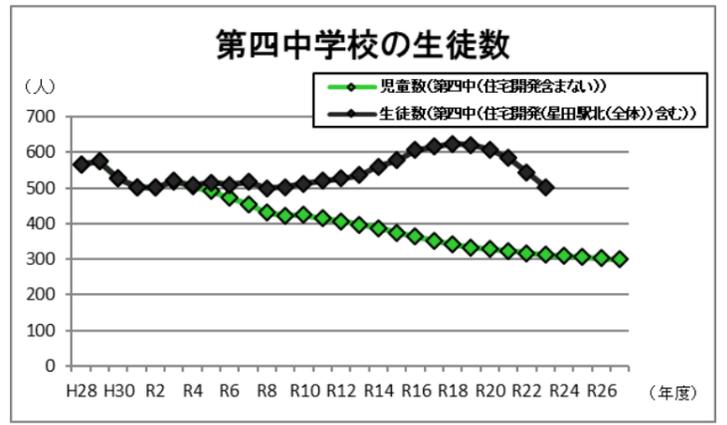


図15 第四中学校の児童生徒数推計予測



星田駅北の住宅開発全体 { (A) + (B) } により増加が見込まれる児童生徒数を、星田小学校、旭小学校、藤が尾小学校、第三中学校、第四中学校に加算した児童生徒数推計がそれぞれ、図11～15である。

※図5～9では星田駅北の住宅開発による単純な児童生徒数の増加を加算したもので、校区内での引っ越し等による星田駅北地域以外の減少は加味していない。
(校区内移動では、学校単位での児童生徒数には増減がない。)

星田駅北地域の考えられる学校区

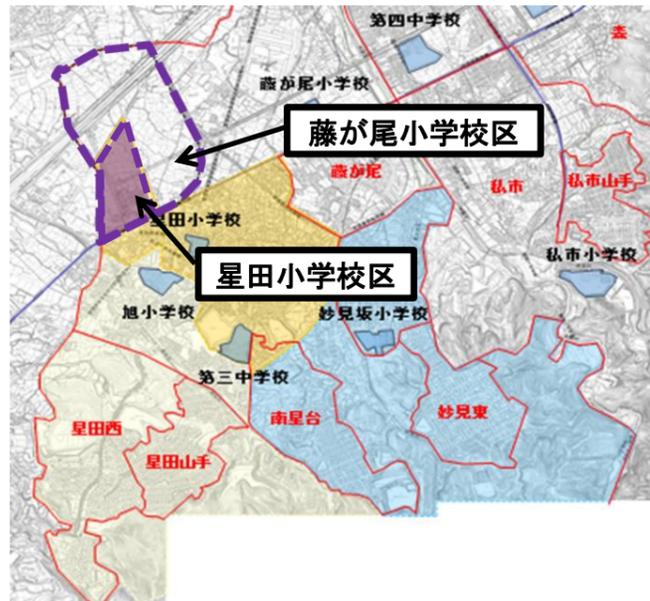
	星田北7丁目	星田北6,8,9丁目	
①	星田小学校区	藤が尾小学校区	現在の学校区
②	旭小学校区	藤が尾小学校区	
③	星田小学校区		平成20年3月31日までの学校区
④	旭小学校区		
⑤A	星田小学校区	旭小学校区	
⑤B	旭小学校区	星田小学校区	
⑥	藤が尾小学校区		

	第三中学校区
	第四中学校区

★：星田北7丁目の旧街区と新街区をひとまとまりとし、校区編成を考えた際の推計値

☆：星田北7丁目の旧街区を星田小学校区のままとし、校区編成を考えた際の推計値

	星田北7丁目	星田北6,8,9丁目
①	星田小学校区 R15：382人・12学級	藤が尾小学校区 R13：661人・22学級
	第三中学校区 R1：563人・15学級	第四中学校区 R17：563人・15学級



星田駅北地域 住宅開発見込数

西側（星田北7丁目）戸建住宅162戸
東側（星田北6丁目）戸建住宅138戸・共同住宅389戸
合計 戸建住宅300戸・共同住宅389戸

適正な学校規模 ～H31.2 交野市学校規模適正化基本方針

	小規模	適正規模
小学校	11学級以下	12学級以上24学級以下（1学年当たり2～4学級）
中学校	8学級以下	9学級以上18学級以下 （19学級以上24学級以下も許容範囲とする）

星田北の学校区

	～H20.3.31	H20.4.1～現在
星田北6丁目	星田小	藤が尾小(*)
星田北7丁目	星田小	星田小
星田北8丁目	星田小	藤が尾小
星田北9丁目	星田小	藤が尾小

(*)星田北6丁目の通学区域に関する取扱い要項
～H25.3.1施行～

異学年の児童が少ない、登下校時に防犯上問題があるとき、星小への就学を希望した場合、星小へ通うことができる

施設許容可能学級数・児童生徒数 ～学適参考資料5(3)

	許容可能学級数	許容可能児童生徒数
星田小学校	12(**)	354
旭小学校	12	354
藤が尾小学校	15	443
第三中学校	19	692
第四中学校	15	546

(**)R1現在12学級で運用できているため、12学級を許容可能学級数とする

推計予測	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
星田小学校児童総数	362	341	322	309	294	289	287	282	292	300	302	280	280	280	270	261	255	249	242	236
星田北7丁目(旧街区)	23	22	21	18	19	21	18	17	16	16	16	13	12	12	13	12	13	13	13	13
星田北7丁目(新街区)						11	15	24	35	44	51	58	70	83	97	112	124	133	134	130
(星北新込)星田小学校	362	341	322	309	294	300	302	306	327	344	353	338	350	363	367	373	379	382	376	366
学級数				12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
藤が尾小学校児童総数	349	325	324	309	299	300	308	300	278	279	271	259	248	240	252	242	235	228	222	216
星田北6丁目(旧街区)	0	0	0	0	1	3	4	4	4	6	5	3	2	2	2	0	0	0	0	0
星田北6,8,9丁目(新街区)						0	0	66	106	186	227	265	312	354	388	419	421	411	382	341
(星北新込)藤が尾小学校	349	325	324	309	299	300	308	366	384	465	498	524	560	594	640	661	656	639	604	557
学級数				12	12	12	12	12	12	16	17	17	18	19	21	22	22	22	21	19
第三中学校生徒総数	627	633	587	563	515	512	496	493	475	466	441	439	424	416	407	398	387	376	365	353
星田北7丁目(旧街区)	8	11	12	10	7	5	6	5	10	10	10	7	7	7	6	6	6	6	6	6
星田北7丁目(新街区)						2	3	5	9	12	14	16	18	20	23	26	30	36	45	53
(星北新込)第三中学校	627	633	587	563	515	514	499	498	484	478	455	455	442	436	430	424	417	412	410	406
学級数				15	14	14	13	13	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
第四中学校生徒総数	567	574	526	503	501	519	505	492	473	455	431	422	424	415	406	397	387	375	364	352
星田北6丁目(旧街区)	0	0	0	0	2	2	2	1	2	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
星田北6,8,9丁目(新街区)						0	0	18	27	50	55	65	72	84	98	114	143	167	198	211
(星北新込)第四中学校	567	574	526	503	501	519	505	510	500	505	486	487	496	499	504	511	530	542	562	563
学級数				14	14	15	14	14	13	14	13	13	13	14	14	15	15	15	15	15

○星田小、藤が尾小、三中、四中のいずれも適正規模

○藤が尾小において教室不足(7教室)⇒増築が必要

	星田北7丁目	星田北6,8,9丁目
②	旭小学校区 ★R15:392人・12学級 ☆R15:379人・12学級	藤が尾小学校区 R13:661人・22学級
	第三中学校区 R1:563人・15学級	第四中学校区 R17:563人・15学級

☆星田北7丁目すべて旭小

☆星田北7丁目(旧街区)は星田小



推計予測	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
旭小学校児童総数	374	356	358	347	343	347	322	301	297	299	288	282	284	282	271	258	252	246	239	233
星田北7丁目(旧街区)	23	22	21	18	19	21	18	17	16	16	16	13	12	12	13	12	13	13	13	13
星田北7丁目(新街区)						11	15	24	35	44	51	58	70	83	97	112	124	133	134	130
★(星北新田)旭小学校	397	378	379	365	362	379	355	342	348	359	355	353	366	377	381	382	389	392	386	376
☆(星北新田)旭小学校	374	356	358	347	343	358	337	325	332	343	339	340	354	365	368	370	376	379	373	363
学級数				12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
藤が尾小学校児童総数	349	325	324	309	299	300	308	300	278	279	271	259	248	240	252	242	235	228	222	216
星田北6丁目(旧街区)	0	0	0	0	1	3	4	4	4	6	5	3	2	2	2	0	0	0	0	0
星田北6,8,9丁目(新街区)						0	0	66	106	186	227	265	312	354	388	419	421	411	382	341
(星北新田)藤が尾小学校	349	325	324	309	299	300	308	366	384	465	498	524	560	594	640	661	656	639	604	557
学級数				12	12	12	12	12	12	16	17	17	18	19	21	22	22	22	21	19
第三中学校生徒総数	627	633	587	563	515	512	496	493	475	466	441	439	424	416	407	398	387	376	365	353
星田北7丁目(旧街区)	8	11	12	10	7	5	6	5	10	10	10	7	7	7	6	6	6	6	6	6
星田北7丁目(新街区)						2	3	5	9	12	14	16	18	20	23	26	30	36	45	53
(星北新田)第三中学校	627	633	587	563	515	514	499	498	484	478	455	455	442	436	430	424	417	412	410	406
学級数				15	14	14	13	13	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
第四中学校生徒総数	567	574	526	503	501	519	505	492	473	455	431	422	424	415	406	397	387	375	364	352
星田北6丁目(旧街区)	0	0	0	0	2	2	2	1	2	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
星田北6,8,9丁目(新街区)						0	0	18	27	50	55	65	72	84	98	114	143	167	198	211
(星北新田)第四中学校	567	574	526	503	501	519	505	510	500	505	486	487	496	499	504	511	530	542	562	563
学級数				14	14	15	14	14	13	14	13	13	13	14	14	15	15	15	15	15

○旭小、藤が尾小、三中、四中のいずれも適正規模

○藤が尾小において教室不足(7教室)⇒増築が必要

	星田北7丁目	星田北6,8,9丁目
③	星田小学校区 R14:800人・24学級	
	第三中学校区 R17:617人・17学級	



推計予測	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
星田小学校児童総数	362	341	322	309	294	289	287	282	292	300	302	280	280	280	270	261	255	249	242	236
星田北7丁目(旧街区)	23	22	21	18	19	21	18	17	16	16	16	13	12	12	13	12	13	13	13	13
星田北7丁目(新街区)						11	15	24	35	44	51	58	70	83	97	112	124	133	134	130
星田北6,8,9丁目(新街区)						0	0	66	106	186	227	265	312	354	388	419	421	411	382	341
(星北新田)星田小学校	362	341	322	309	294	300	302	372	433	530	580	603	662	717	755	792	800	793	758	707
学級数				12	12	12	12	13	14	17	19	20	21	22	23	24	24	24	23	22
第三中学校生徒総数	627	633	587	563	515	512	496	493	475	466	441	439	424	416	407	398	387	376	365	353
星田北7丁目(旧街区)	8	11	12	10	7	5	6	5	10	10	10	7	7	7	6	6	6	6	6	6
星田北7丁目(新街区)						2	3	5	9	12	14	16	18	20	23	26	30	36	45	53
星田北6,8,9丁目(新街区)						0	0	18	27	50	55	65	72	84	98	114	143	167	198	211
(星北新田)第三中学校	627	633	587	563	515	514	499	516	511	528	510	520	514	520	528	538	560	579	608	617
学級数				15	14	14	13	15	14	14	14	15	15	15	15	15	15	15	16	17

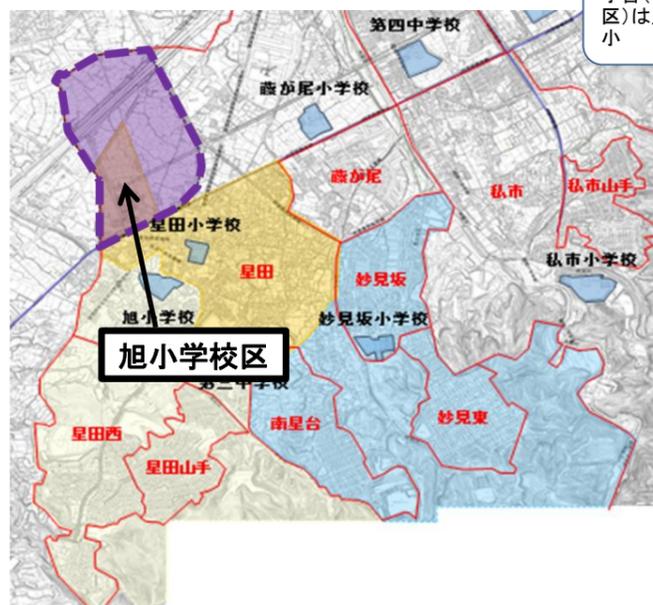
○星田小、三中とも適正規模

○星田小において教室不足(12教室)⇒増築が必要⇒敷地が狭く、増築が不可能⇒星田小学校区の一部を校区変更する必要がある

	星田北7丁目	星田北6,8,9丁目
④	旭小学校区 ★R14：810人・24学級 ☆R14：797人・24学級	
	第三中学校区 R17：617人・17学級	

☆星田北7丁目すべて旭小

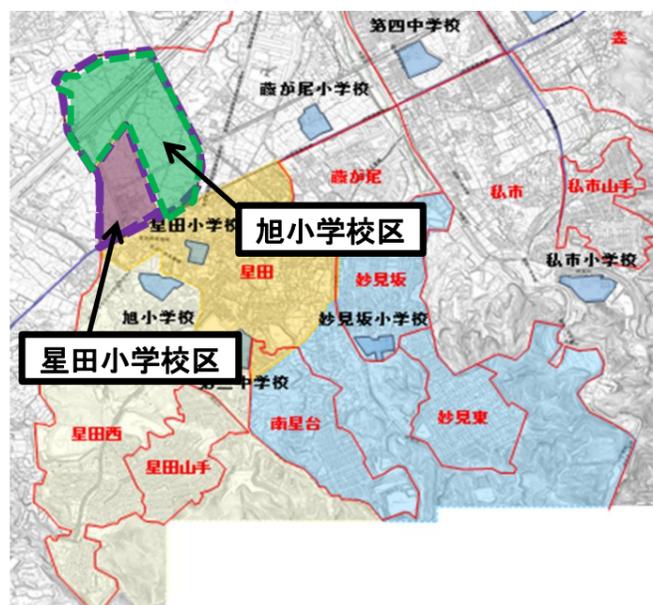
☆星田北7丁目(旧街区)は星田小



推計予測	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
旭小学校児童総数	374	356	358	347	343	347	322	301	297	299	288	282	284	282	271	258	252	246	239	233
星田北7丁目(旧街区)	23	22	21	18	19	21	18	17	16	16	16	13	12	12	13	12	13	13	13	13
星田北7丁目(新街区)						11	15	24	35	44	51	58	70	83	97	112	124	133	134	130
星田北6,8,9丁目(新街区)						0	0	66	106	186	227	265	312	354	388	419	421	411	382	341
★(星北新旧込)旭小学校	397	378	379	365	362	379	355	408	454	545	582	618	678	731	769	801	810	803	768	717
☆(星北新込)旭小学校	374	356	358	347	343	358	337	391	438	529	566	605	666	719	756	789	797	790	755	704
学級数				12	12	12	12	12	13	18	19	20	21	22	23	24	24	24	23	22
第三中学校生徒総数	627	633	587	563	515	512	496	493	475	466	441	439	424	416	407	398	387	376	365	353
星田北7丁目(旧街区)	8	11	12	10	7	5	6	5	10	10	10	7	7	7	6	6	6	6	6	6
星田北7丁目(新街区)						2	3	5	9	12	14	16	18	20	23	26	30	36	45	53
星田北6,8,9丁目(新街区)						0	0	18	27	50	55	65	72	84	98	114	143	167	198	211
(星北新込)第三中学校	627	633	587	563	515	514	499	516	511	528	510	520	514	520	528	538	560	579	608	617
学級数				15	14	14	13	15	14	14	14	15	15	15	15	15	15	15	16	17

- 旭小、三中とも適正規模
- 旭小において教室不足(12教室)⇒増築が必要

	星田北7丁目	星田北6,8,9丁目
⑤ A	星田小学校区 R15：382人・12学級	旭小学校区 R13：677人・23学級
	第三中学校区 R17：617人・17学級	



推計予測	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
星田小学校児童総数	362	341	322	309	294	289	287	282	292	300	302	280	280	280	270	261	255	249	242	236
星田北7丁目(旧街区)	23	22	21	18	19	21	18	17	16	16	16	13	12	12	13	12	13	13	13	13
星田北7丁目(新街区)						11	15	24	35	44	51	58	70	83	97	112	124	133	134	130
(星北新込)星田小学校	362	341	322	309	294	300	302	306	327	344	353	338	350	363	367	373	379	382	376	366
学級数				12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
旭小学校児童総数	374	356	358	347	343	347	322	301	297	299	288	282	284	282	271	258	252	246	239	233
星田北6,8,9丁目(新街区)						0	0	66	106	186	227	265	312	354	388	419	421	411	382	341
(星北新込)旭小学校	374	356	358	347	343	347	322	367	403	485	515	547	596	636	659	677	673	657	621	574
学級数				12	12	12	12	12	13	17	17	18	20	21	22	23	23	22	21	19
第三中学校生徒総数	627	633	587	563	515	512	496	493	475	466	441	439	424	416	407	398	387	376	365	353
星田北7丁目(旧街区)	8	11	12	10	7	5	6	5	10	10	10	7	7	7	6	6	6	6	6	6
星田北7丁目(新街区)						2	3	5	9	12	14	16	18	20	23	26	30	36	45	53
星田北6,8,9丁目(新街区)						0	0	18	27	50	55	65	72	84	98	114	143	167	198	211
(星北新込)第三中学校	627	633	587	563	515	514	499	516	511	528	510	520	514	520	528	538	560	579	608	617
学級数				15	14	14	13	15	14	14	14	15	15	15	15	15	15	15	16	17

- 星田小、旭小、三中のいずれも適正規模
- 旭小において教室不足(11教室)⇒増築が必要

	星田北7丁目	星田北6,8,9丁目
⑤ B	旭小学校区 ★R15:392人・12学級 ☆R15:379人・12学級	星田小学校区 ★R13:668人・23学級 ☆R13:680人・23学級
	第三中学校区 R17:617人・17学級	



☆星田北7丁目すべて旭小

☆星田北7丁目(旧街区)は旭小

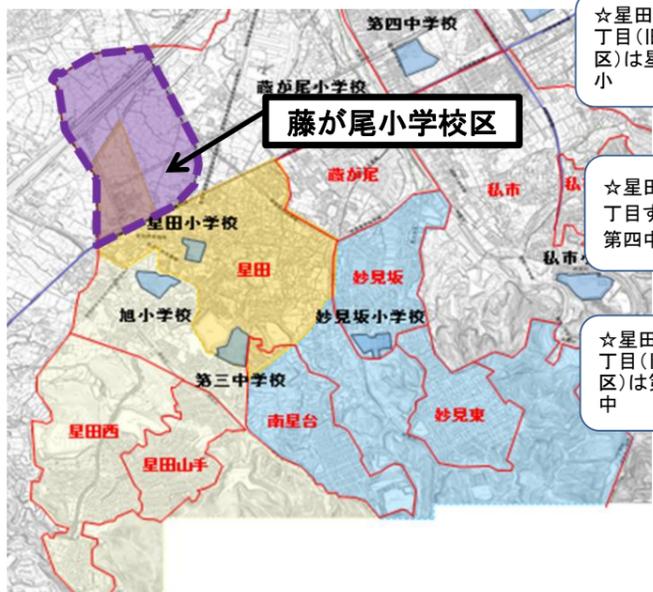
☆星田北7丁目(旧街区)は星田小

推計予測	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
旭小学校児童総数	374	356	358	347	343	347	322	301	297	299	288	282	284	282	271	258	252	246	239	233
星田北7丁目(旧街区)	23	22	21	18	19	21	18	17	16	16	16	13	12	12	13	12	13	13	13	13
星田北7丁目(新街区)						11	15	24	35	44	51	58	70	83	97	112	124	133	134	130
★(星北新旧込)旭小学校	397	378	379	365	362	379	355	342	348	359	355	353	366	377	381	382	389	392	386	376
☆(星北新込)旭小学校	374	356	358	347	343	358	337	325	332	343	339	340	354	365	368	370	376	379	373	363
学級数				12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
星田小学校児童総数	362	341	322	309	294	289	287	282	292	300	302	280	280	280	270	261	255	249	242	236
星田北7丁目(旧街区)	23	22	21	18	19	21	18	17	16	16	16	13	12	12	13	12	13	13	13	13
星田北6,8,9丁目(新街区)						0	0	66	106	186	227	265	312	354	388	419	421	411	382	341
★(星北旧徐)星田小学校	339	319	301	291	275	268	269	331	382	470	513	532	580	622	645	668	663	647	611	564
☆(星北新旧込)星田小学校	362	341	322	309	294	289	287	348	398	486	529	545	592	634	658	680	676	660	624	577
学級数				12	12	12	12	13	14	16	17	18	20	21	22	23	23	22	21	19
第三中学校生徒総数	627	633	587	563	515	512	496	493	475	466	441	439	424	416	407	398	387	376	365	353
星田北7丁目(旧街区)	8	11	12	10	7	5	6	5	10	10	10	7	7	7	6	6	6	6	6	6
星田北7丁目(新街区)						2	3	5	9	12	14	16	18	20	23	26	30	36	45	53
星田北6,8,9丁目(新街区)						0	0	18	27	50	55	65	72	84	98	114	143	167	198	211
(星北新込)第三中学校	627	633	587	563	515	514	499	516	511	528	510	520	514	520	528	538	560	579	608	617
学級数				15	14	14	13	15	14	14	14	15	15	15	15	15	15	15	16	17

○旭小、星田小、三中いずれも適正規模

○星田小において教室不足(11教室)⇒増築が必要⇒敷地が狭く、増築が不可能⇒星田小学校の一部を校区変更する必要がある

	星田北7丁目	星田北6,8,9丁目
⑥	藤が尾小学校区 ★R14:793人・24学級 ☆R14:780人・24学級	第四中学校区 ★R17:622人・17学級 ☆R17:616人・17学級



☆星田北7丁目すべて藤が尾小

☆星田北7丁目(旧街区)は星田小

☆星田北7丁目すべて第四中

☆星田北7丁目(旧街区)は第三中

推計予測	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17
藤が尾小学校児童総数	349	325	324	309	299	300	308	300	278	279	271	259	248	240	252	242	235	228	222	216
星田北6丁目(旧街区)	0	0	0	0	1	3	4	4	4	6	5	3	2	2	2	0	0	0	0	0
星田北7丁目(旧街区)	23	22	21	18	19	21	18	17	16	16	16	13	12	12	13	12	13	13	13	13
星田北7丁目(新街区)						11	15	24	35	44	51	58	70	83	97	112	124	133	134	130
星田北6,8,9丁目(新街区)						0	0	66	106	186	227	265	312	354	388	419	421	411	382	341
★(星北新旧込)藤が尾小学校	372	347	345	327	318	332	341	407	435	525	565	595	642	689	750	785	793	785	751	700
☆(星北新込)藤が尾小学校	349	325	324	309	299	311	323	390	419	509	549	582	630	677	737	773	780	772	738	687
学級数				12	12	12	12	12	15	18	19	20	21	22	23	24	24	24	23	22
第四中学校生徒総数	567	574	526	503	501	519	505	492	473	455	431	422	424	415	406	397	387	375	364	352
星田北6丁目(旧街区)	0	0	0	0	2	2	2	1	2	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
星田北7丁目(旧街区)	8	11	12	10	7	5	6	5	10	10	10	7	7	7	6	6	6	6	6	6
星田北7丁目(新街区)						2	3	5	9	12	14	16	18	20	23	26	30	36	45	53
星田北6,8,9丁目(新街区)						0	0	18	27	50	55	65	72	84	98	114	143	167	198	211
★(星北新旧込)第四中学校	575	585	538	513	508	526	514	520	519	527	510	510	521	526	533	543	566	584	613	622
☆(星北新込)第四中学校	567	574	526	503	501	521	508	515	509	517	500	503	514	519	527	537	560	578	607	616
学級数				14	14	15	14	14	13	14	14	14	15	15	15	15	15	15	16	17

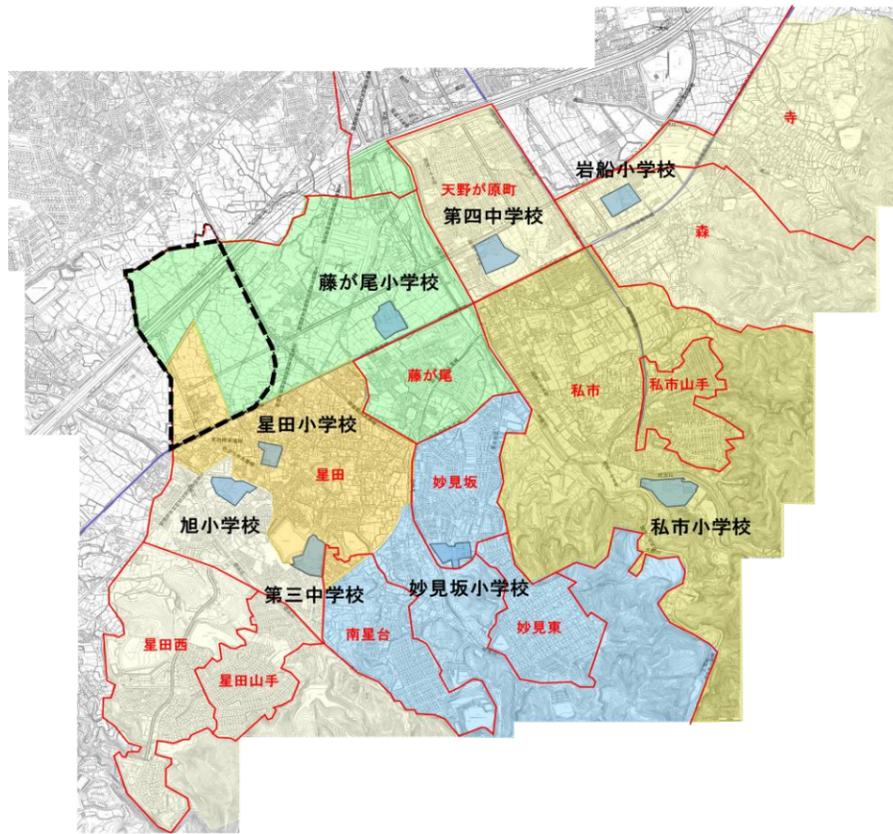
○藤が尾小、四中とも適正規模

○藤が尾小において教室不足(9教室)⇒増築が必要

○四中において教室不足(2教室)⇒増築が必要

第三中学校区・第四中学校区の児童生徒数予測等まとめ資料

1. 第三中学校区・第四中学校区の校区・地区図



2. 丁目境変更後の星田北7丁目位置図



3. 第三中学校区・第四中学校区の児童生徒数予測

【第三中学校区】

		H28	R2	R7	R12	R17	R22	R27
星田小学校	児童数	362	294	300	270	236	213	199
	学級数	12	12	12	12	10	6	6

		H28	R2	R7	R12	R17	R22	R27
妙見坂小学校	児童数	376	385	322	276	253	232	213
	学級数	12	12	12	12	12	10	6

		H28	R2	R7	R12	R17	R22	R27
旭小学校	児童数	374	343	299	271	233	211	198
	学級数	13	12	12	12	10	6	6

		H28	R2	R7	R12	R17	R22	R27
第三中学校	生徒数	627	515	466	407	353	318	300
	学級数	18	14	13	12	9	9	9

※星田小学校の児童数には、星田北7丁目の旧街区の児童数を含む

※第三中学校の生徒数には、星田北7丁目の旧街区の生徒数を含む

【第四中学校区】

		H28	R2	R7	R12	R17	R22	R27
岩船小学校	児童数	366	322	285	247	222	202	190
	学級数	12	12	11	11	8	6	6

		H28	R2	R7	R12	R17	R22	R27
藤が尾小学校	児童数	349	299	279	252	216	198	185
	学級数	12	12	11	12	7	6	6

		H28	R2	R7	R12	R17	R22	R27
私市小学校	児童数	381	377	358	311	279	255	240
	学級数	12	12	12	12	12	12	12

		H28	R2	R7	R12	R17	R22	R27
第四中学校	生徒数	567	501	455	406	352	318	300
	学級数	15	14	13	12	9	9	9

【星田北7丁目（新街区）】

		H28	R2	R7	R12	R17	R22	R27
星田北7丁目 （新街区）	児童数	—	—	44	97	130	—	—
	生徒数	—	—	12	23	53	—	—

【参考 星田北7丁目旧街区の児童生徒数】

	H28	R2	R7	R12	R17	R22	R27
児童数	23	19	16	13	13	—	—
生徒数	8	7	10	6	6	—	—

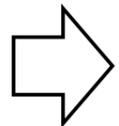
※ 星田北6丁目藤が尾小学校区の場合

	H28	R2	R7	R12	R17	R22	R27
児童数	349	299	465	640	557	—	—
学級数	12	12	16	21	19	—	—

※ 星田北6丁目第四中学校区の場合

	H28	R2	R7	R12	R17	R22	R27
生徒数	567	501	505	504	563	479	—
学級数	15	14	14	14	15	13	—

	星田北7丁目	星田北6・8・9丁目
①	星田小学校区	藤が尾小学校区
②	旭小学校区	藤が尾小学校区
③	星田小学校区	
④	旭小学校区	
⑤A	星田小学校区	旭小学校区
⑤B	旭小学校区	星田小学校区
⑥	藤が尾小学校区	



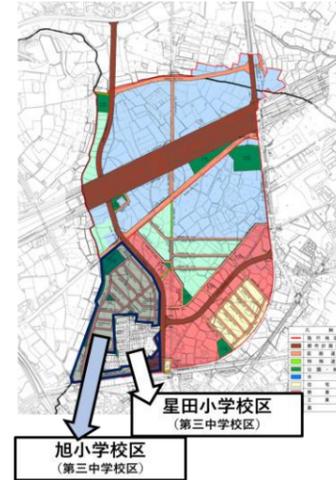
	星田北7丁目	
	新街区	旧街区
①	星田小学校区	
②★	旭小学校区	
②☆	旭小学校区	星田小学校区
⑥★	藤が尾小学校区	
⑥☆	藤が尾小学校区	星田小学校区

★：星田北7丁目の旧街区と新街区をひとまとまりに考える場合
 ☆：星田北7丁目の旧街区と新街区の学校区を分けて考える場合

■：第三中学校区
 ■：第四中学校区

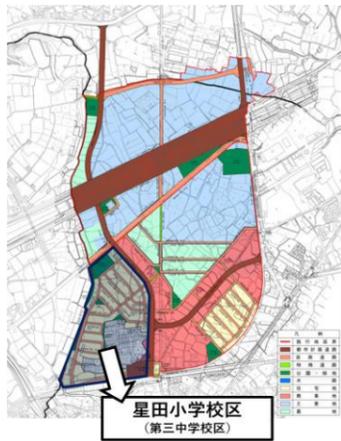
※第6回学校教育審議会の審議結果を踏まえ、星田北6・8・9丁目を藤が尾小学校区とする場合。

②☆ 星田北7丁目の学校区を、「新街区⇒旭小学校区」「旧街区⇒星田小学校区」とする場合



- メリット
 - 旭小学校は適正規模で推移する見込みとなる
- デメリット
 - 星田北7丁目から旭小学校への通学は、星田小学校区をまたいでの通学となる（学校規模適正化基本計画で教育環境上望ましくないデメリット）
 - 星田北6丁目と7丁目地域コミュニティが分かれる（さらに、同じ星田北7丁目内でも、地域コミュニティが分かれる）

① 星田北7丁目を星田小学校区とする場合



- メリット
 - 星田小学校が適正規模で推移する見込みとなる
- デメリット
 - 星田小学校は敷地面積が小さいため、教室数が不足した場合、増築等が難しい
 - 星田北6丁目と7丁目地域コミュニティが分かれる

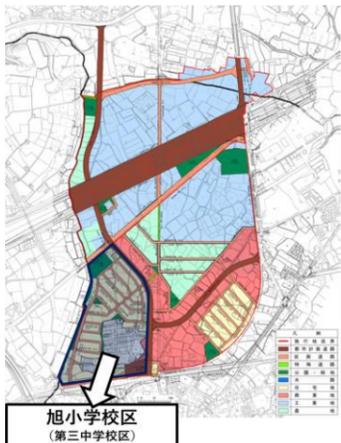
⑥★ 星田北7丁目を、藤が尾小学校区とする場合



※ 星田北7丁目⇒藤が尾小学校
 通学距離 1.6km程度

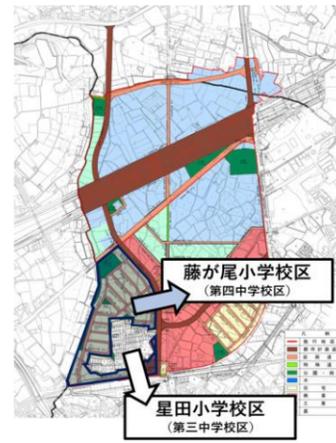
- メリット
 - 星田駅北、星田北の地域コミュニティがひとつになる
- デメリット
 - 藤が尾小学校で、将来、一時的に適正規模を上回る可能性がある（第四中学校は、適正規模で推移する見込み）

②★ 星田北7丁目を、旭小学校区とする場合



- メリット
 - 旭小学校は適正規模で推移する見込みとなる（旭小学校は、敷地が広いので、教室数が不足した場合、増築等を行いやすい）
- デメリット
 - 星田北7丁目から旭小学校への通学は、星田小学校区をまたいでの通学となる（学校規模適正化基本計画で教育環境上望ましくないデメリット）
 - 星田北6丁目と7丁目地域コミュニティが分かれる

⑥☆ 星田北7丁目の学校区を、「新街区⇒藤が尾小学校区」「旧街区⇒星田小学校区」とする場合



- メリット
- デメリット
 - 藤が尾小学校で、将来、一時的に適正規模を上回る可能性がある（第四中学校は、適正規模で推移する見込み）
 - 星田北7丁目内でも、地域コミュニティが分かれる

第三中学校区・第四中学校区適正配置案等について (星田北6・8・9丁目を、藤が尾小学校区とする場合)

ポイント

(1)
三中校区の各学校の
学校規模
(~R27までの見込み)

妙見坂 ⇒ 小規模化
星田 ⇒ 小規模化
旭 ⇒ 小規模化
三中 ⇒ 適正規模

※
星田、旭は、星田北7丁目
の新街区を学校区に含む
場合は、適正規模で推移
する見込み

(2)
四中校区の各学校の
学校規模
(~R27までの見込み)

岩船 ⇒ 小規模化
藤が尾 ⇒ 適正規模
私市 ⇒ 適正規模
四中 ⇒ 適正規模

※
藤が尾は、星田北7丁目
を学校区に含む場合、一
時的に適正規模を上回る
可能性あり

(3)
星田北6・7丁目のど
ちらか(または両方)を
含む中学校区では、施設
一体型小中一貫校の設置
は、当面は難しい見込み
(小学校が大規模になっ
てしまうため)

星田北7丁目の学校区		【第三中学校区の適正配置】	【第四中学校区の適正配置】
新街区	旧街区		
①	星田小学校区	<p>課題 旭・妙見坂が将来小規模化の見込み</p> <p>方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校区変更(星田⇒妙見坂、星田⇒旭) ・学校統合(妙見坂+旭) 他の小学校区をまたいでの、または、大きく迂回しての通学となる地域がある ・小中学校統合(星田+妙見坂+旭+第三) 小学校で、長期的に適正規模を上回る見込み 	<p>課題 岩船が将来小規模化の見込み</p> <p>方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校区変更(藤が尾⇒岩船) 藤が尾小学校区のうち、岩船小学校区に隣接する地域には、現状住宅が少なく、校区変更は難しい ・校区変更(私市⇒岩船) 現状一致している学校区と地区の境を考えると、地域コミュニティへの影響が大きい ・学校統合(岩船+藤が尾) 通学距離が2.7km程度になる地域あり ・学校統合(岩船+私市) ・小中学校統合(岩船+藤が尾+私市+第四) 小学校で、長期的に適正規模を上回る見込み
②★	旭小学校区	<p>星田北7丁目から、旭小学校への通学は、星田小学校区をまたいでの通学となる。</p> <p>↓</p> <p>この状態を解消するためには、星田小学校区の一部を、旭小学区に校区変更する必要がある。</p> <p>↓</p> <p>星田小学校の小規模化が進む。</p>	
②☆	旭小学校区	<p>課題 星田・妙見坂が将来小規模化の見込み</p> <p>方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校区変更(旭⇒星田、星田⇒妙見坂) 校区変更地域の選定が難しく、地域コミュニティへの影響が大きい ・学校統合(星田+妙見坂) ・小中学校統合(星田+妙見坂+旭+第三) 小学校で、長期的に適正規模を上回る見込み 	
⑥★	藤が尾小学校区	<p>課題 星田、旭、妙見坂が将来小規模化の見込み</p> <p>方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校区変更 すべての小学校で、将来、小規模化が見込まれるため、第三中学校区内の校区変更では対応できない ・学校統合(星田+妙見坂+旭) ・小中学校統合(星田+妙見坂+旭+第三) 	<p>課題 岩船が将来小規模化の見込み</p> <p>方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校区変更(藤が尾⇒岩船、私市⇒岩船) 上述の事由と同様 ・学校統合(岩船+藤が尾) 通学距離が2.7km程度になる地域あり ・学校統合(岩船+私市) ・小中学校統合(岩船+藤が尾+私市+第四) 小学校で、長期的に適正規模を上回る見込み ・校区変更案 (藤が尾小学校区を、新しい中学校区とする) 第四中学校区が、将来小規模化する見込み
⑥☆	藤が尾小学校区		

とれる方策はほぼ同じ

とれる方策はほぼ同じ

※表中、星田・妙見坂・旭・第三・岩船・藤が尾・私市・第四は、それぞれ星田小学校、妙見坂小学校、旭小学校、第三中学校、岩船小学校、藤が尾小学校、私市小学校、第四中学校を指す。

※赤文字は、学校規模適正化基本計画に記載されているデメリット。

※見え消し線(赤)は、学校規模適正化基本計画に記載されている教育環境上望ましくないと考えられるデメリットを含むもの。

第三中学校区・第四中学校区適正配置案等について (星田北6・8・9丁目を、藤が尾小学校区とする場合)

学校規模適正化基本計画に記載の学校適正配置案のうち、**評価点の高い案2つ**と概要等を表に記載。

星田北7丁目の学校区		【第三中学校区の適正配置】	【第四中学校区の適正配置】
新街区	旧街区		
①	星田小学校区	<p>課題 旭・妙見坂が将来小規模化の見込み</p> <p>配置案 小中学校統合案 (3) 85点 第三中学校敷地にて、第三中学校区の3小学校及び中学校を統合(施設一体型小中一貫校の設置)</p> <p>校区変更案 (1) 80点 星田小学校区の一部を、妙見坂小学校区及び旭小学校区に校区変更</p>	<p>課題 岩船が将来小規模化の見込み</p> <p>配置案 学校統合案 (1) 75点 岩船小学校と私市小学校を統合。統合後の学校施設の位置は、岩船小学校敷地</p> <p>小中学校統合案 (1) 65点 第四中学校敷地にて、岩船小学校、私市小学校及び第四中学校を統合(施設一体型小中一貫校の設置) 第四中学校区は、統合後の新小中学校と藤が尾小学校の2校体制となる。</p>
②★	旭小学校区	<p style="border: 1px solid red; padding: 5px;">星田北7丁目から、旭小学校への通学は、星田小学校区をまたいでの通学となる。 ↓ この状態を解消するためには、星田小学校区の一部を、旭小学区に校区変更する必要がある。</p> <p>課題 星田・妙見坂が将来小規模化の見込み</p> <p>配置案 小中学校統合案 (3) 85点 上に同じ</p> <p>校区変更案 (2) - ① 80点</p> <p>①星田小学校区の一部(星田北7丁目から旭小学校に通学する際にまたぐ星田小学校区)を旭小学校区へ校区変更 ②旭小学校区の一部を星田小学校区へ校区変更 ③星田小学校区の一部を妙見坂小学校区へ校区変更</p>	
②☆	星田小学校区	<p>課題 星田・妙見坂が将来小規模化の見込み</p> <p>配置案 小中学校統合案 (3) 85点 上に同じ</p> <p>校区変更案 (2) - ① 80点</p> <p>①星田小学校区の一部(星田北7丁目から旭小学校に通学する際にまたぐ星田小学校区)を旭小学校区へ校区変更 ②旭小学校区の一部を星田小学校区へ校区変更 ③星田小学校区の一部を妙見坂小学校区へ校区変更</p>	
⑥★	藤が尾小学校区	<p style="border: 1px solid yellow; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">およそ10年後から、実施可能になる見込み</p> <p>課題 星田、旭、妙見坂が将来小規模化の見込み</p> <p>配置案 小中学校統合案 (11) 85点 第三中学校敷地にて、第三中学校区の各小学校及び中学校を統合(施設一体型小中一貫校の設置)</p> <p>学校統合案 (27) または (28) 65点 第三中学校区の3小学校を統合。統合後の学校施設の位置は、妙見坂小学校敷地または旭小学校敷地</p>	<p>課題 岩船が将来小規模化の見込み</p> <p>配置案 学校統合案 (1) 75点 上に同じ</p> <p>小中学校統合案 (1) 65点 上に同じ</p> <p>校区変更案 45点 藤が尾小学校区を、新たな小中学校区として、第四中学校区から分離する配置案。星田北6・7丁目の児童生徒数を注視し、適正な学校規模を維持できるか注視する必要あり。</p> <p style="border: 1px solid red; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;">※星田北6～9丁目が藤が尾小学校区の場合のみ可能性あり</p>
⑥☆	星田小学校区	<p>課題 星田、旭、妙見坂が将来小規模化の見込み</p> <p>配置案 小中学校統合案 (11) 85点 第三中学校敷地にて、第三中学校区の各小学校及び中学校を統合(施設一体型小中一貫校の設置)</p> <p>学校統合案 (27) または (28) 65点 第三中学校区の3小学校を統合。統合後の学校施設の位置は、妙見坂小学校敷地または旭小学校敷地</p>	

とれる配置案はほぼ同じ

とれる配置案はほぼ同じ

すぐにはできない。
児童生徒数を注視しながら、将来的に実施可能

およそ10年後から、実施可能になる見込み

校区変更案 45点
藤が尾小学校区を、新たな小中学校区として、第四中学校区から分離する配置案。星田北6・7丁目の児童生徒数を注視し、適正な学校規模を維持できるか注視する必要あり。
※星田北6～9丁目が藤が尾小学校区の場合のみ可能性あり

学校適正配置案の配置図

【第三中学校区】

校区変更案

学校統合案

小中学校統合案

【第四中学校区】

学校統合案

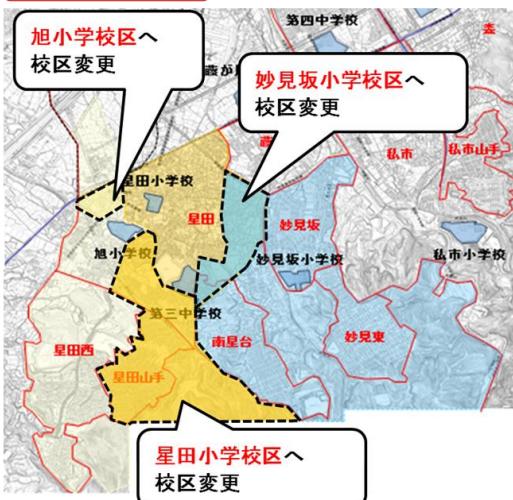
校区変更案(1)



【校区変更案(1)の概要】

- ・星田北7丁目 ⇒ 星田小学校区
- ・星田北6,8,9丁目 ⇒ 藤が尾小学校区
- ・星田小学校区の一部を、
妙見坂小学校区・旭小学校区へ校区変更

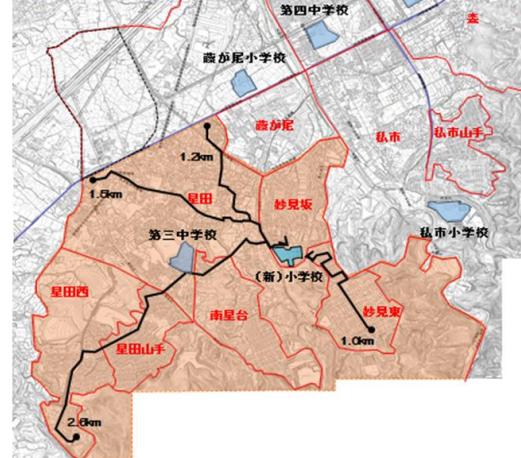
校区変更案(2) - ①



【校区変更案(2) - ①の概要】

- ・星田北7丁目 ⇒ 旭小学校区
- ・星田北6,8,9丁目 ⇒ 藤が尾小学校区
- ・旭小学校区の一部を星田小学校区へ校区変更
- ・星田小学校区の一部を
妙見坂小学校区・旭小学校区へ校区変更

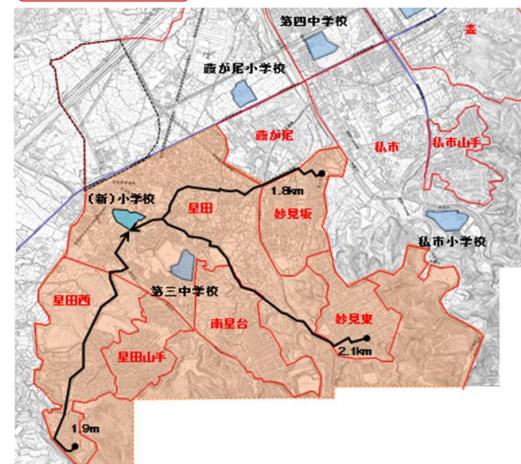
学校統合案(27)



【学校統合案(27)の概要】

- ・星田北6~9丁目 ⇒ 藤が尾小学校区
- ・星田小学校・妙見坂小学校・旭小学校
を統合し、
妙見坂小学校敷地に新しい小学校を設置

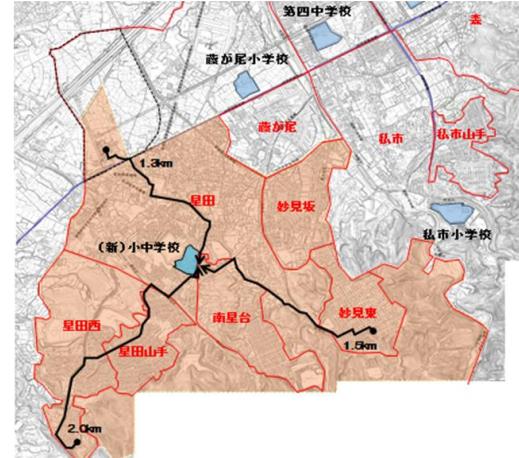
学校統合案(28)



【学校統合案(28)の概要】

- ・星田北6~9丁目 ⇒ 藤が尾小学校区
- ・星田小学校・妙見坂小学校・旭小学校
を統合し、
旭小学校敷地に新しい小学校を設置

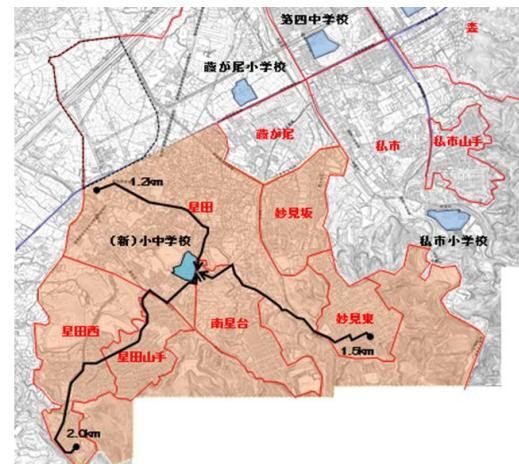
小中学校統合案(3)



【小中学校統合案(3)の概要】

- ・星田北7丁目 ⇒ (新)小中学校区
- ・星田北6,8,9丁目 ⇒ 藤が尾小学校区
- ・星田小学校・妙見坂小学校・旭小学校・
第三中学校を統合し、
第三中学校敷地に新しい小中学校を設置

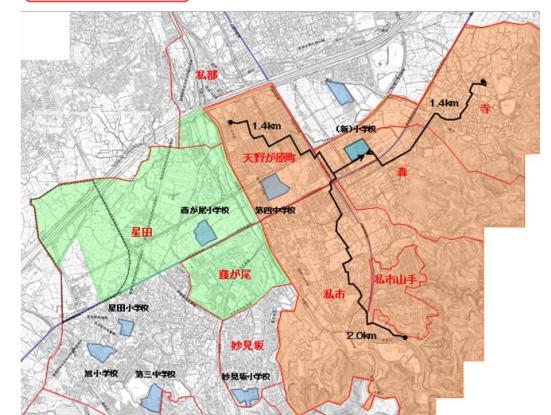
小中学校統合案(11)



【小中学校統合案(11)の概要】

- ・星田北6~9丁目 ⇒ 藤が尾小学校区
- ・星田小学校・妙見坂小学校・旭小学校・
第三中学校を統合し、
第三中学校敷地に新しい小中学校を設置

学校統合案(1)

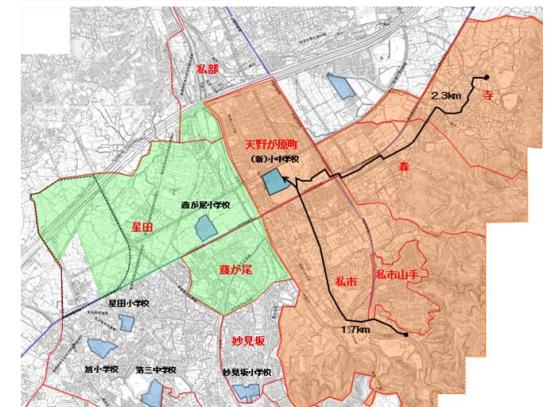


【学校統合案(1)の概要】

- ・星田北7丁目 ⇒ 第三中学校区
- ・星田北6,8,9丁目 ⇒ 藤が尾小学校区
- ・岩船小学校・私市小学校を統合し、
岩船小学校敷地に新しい小学校を設置

小中学校統合案

小中学校統合案(1)



【小中学校統合案(1)の概要】

- ・星田北7丁目 ⇒ 第三中学校区
- ・星田北6,8,9丁目 ⇒ 藤が尾小学校区
- ・岩船小学校・私市小学校・第四中学校
を統合し、
第四中学校敷地に新しい小中学校を設置

星田北・星田駅北地域の通学に関する資料
(星田小学校通学関連)

星田北6・7丁目 ⇒ 星田小学校への通学路

⑪



⑫



13



14



15



16



17



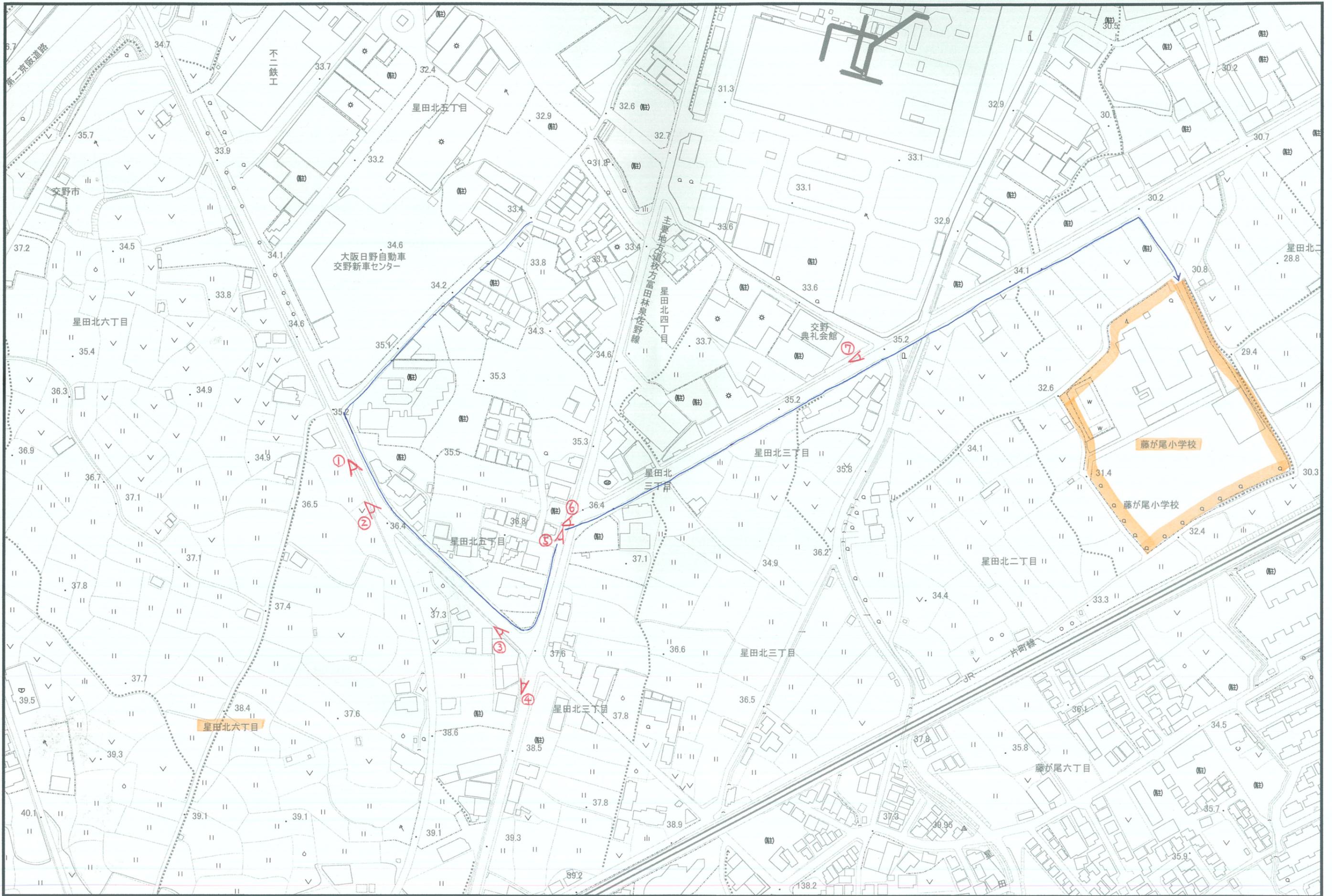
18



19



星田北・星田駅北地域の通学に関する資料
(藤が尾小学校通学関連)



星田北6・7丁目 ⇒ 藤が尾小学校への通学路

①



②



③



④



⑤



⑥

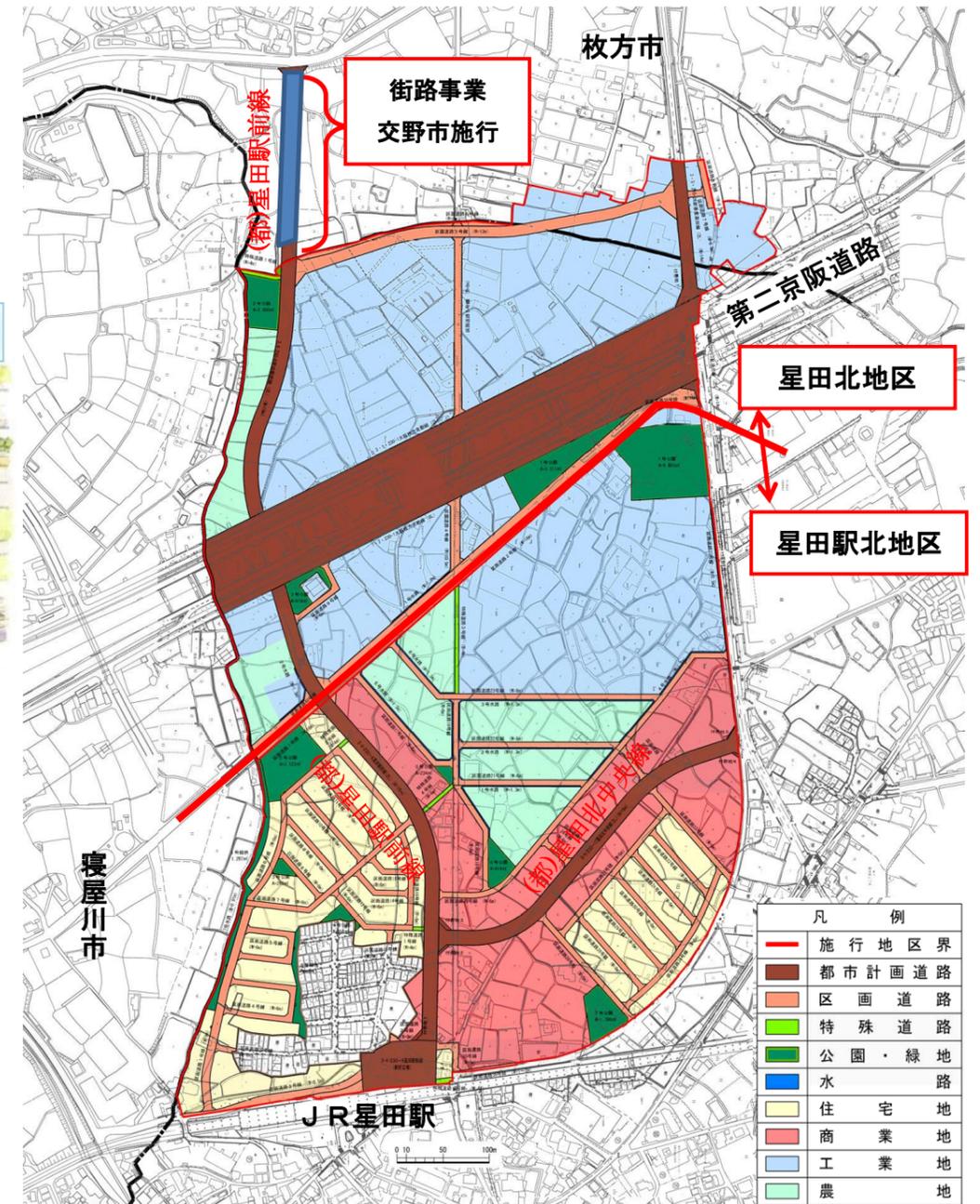
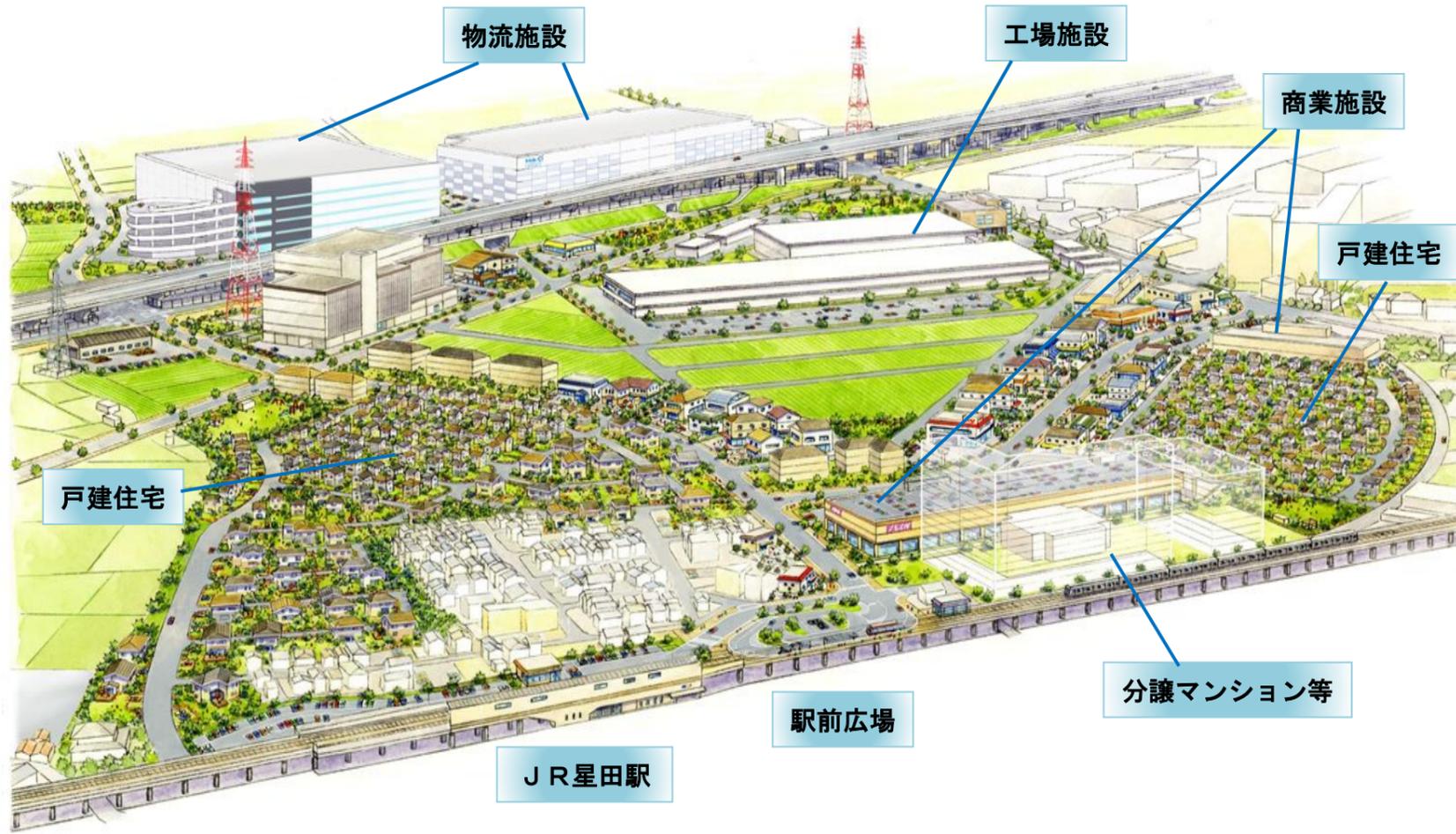


⑦



星田北エリアのまちづくり ～第二京阪道路沿道まちづくり～

コンパクトシティへのリーディング・ゾーン（星田北地区及び星田駅北地区土地区画整理事業）



星田北地区(交野市・枚方市)

- ①面積 約20.2ha
- ②地権者数 109権利、同意率 99.1%
- ③業務代行者 (株)大林組
- ④土地利用 物流施設、農地 他
- ⑤経過 H27.9 準備組合設立
H30.3.28 都市計画決定
H30.7.31 組合設立認可
H31.4.1 仮換地指定
R 3.3 まちびらき予定

星田駅北地区

- ①面積 約26.4ha
- ②地権者数 211権利、同意率 95.3%
- ③業務代行者 戸田建設(株)
- ④土地利用 戸建住宅、中高層マンション、商業施設等
- ⑤経過 H28.9 準備組合設立
H30.3.28 都市計画決定
H30.9.13 組合設立認可
R 1.6.15 仮換地指定
R 4.3 まちびらき予定

星田駅前線(街路事業:交野市施行)

- 区間 枚方市高田1丁目
- 幅員 16m、延長 220m
- 用地買収筆数 13筆、総事業費 約3.5億円
- 経過 H30.3.28 都計変更(4回目:当初 S43)
H31.3.12 事業認可
R 5.3 開通予定